## タイ国

## 東北タイ南部中規模かんがい パッケージプロジェクト

東北タイにおける中一小規模かんがい事業計画 作成のための基準/指針に関する勧告

昭和59年7月

国際協力事業団



JIGA LIBRARY 1030926[8]

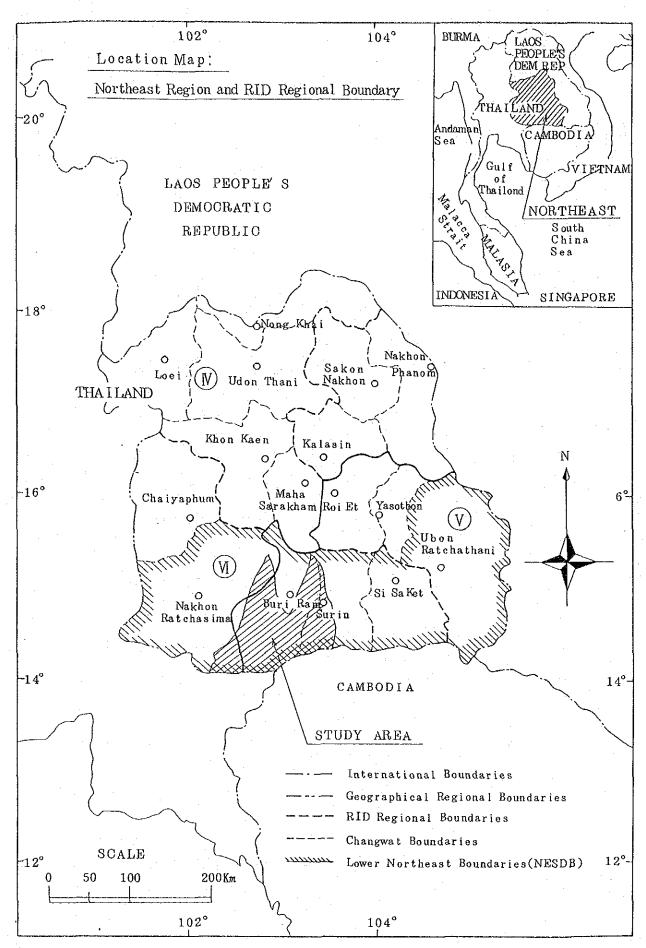
## タイ国

# 東北タイ南部中規模かんがい パッケージプロジェクト

東北タイにおける中-小規模かんがい事業計画 作成のための基準/指針に関する勧告

昭和 59 年 7 月

国際協力事業団



## 目 次

		頁
東北ター	<b>イ位置図</b>	ì
第1章	序説	. 1
1.1	東北タイの開発政策	1
1.2	東北タイ南部の社会的背景	1
1.3	小規模かんがい事業	1
1.4	中規模かんがい事業	2.
1.5	中-小規模かんがい事業	, 2
1.6	SMSIP の事業内容並びに計画立案の方針	2
1.7	クライテリア/ガイドライン作成の目的	3
第2章	中 - 小規模かんがい事業の概念	· Ą
2.1	事業の目的	4
2.2	事業の定義	4
2.3	事業の対象施設並びに実施機関	10
2.4	施設の維持管理運営	10
2.5	地区選定と事業計画策定までの手順	11
2.6	事業実施のフローチャート	12
第3章	オーバーオール・ベーズン・スタディの基準/指針	14
3.1	支流域の分割	16
3.2	気象・水文調査	16
3.3	貯水池・ダム計画調査	21
3.4	かんがい排水計画調査	28
3.5	社会・経済及び農業調査	37

3,6	候補地区の事業費概算
3.7	最優先地区の選定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第4章	バッケージ・プロジェクトのフィージビリティ・スタディ
	の基準/指針
4.1	F/S の基本方針
4.2	基礎資料のレビューと追加
4.3	貯水池水利用計画
4.4	ダムの F/S設計
4.5	水路の F/S設計
4.6	事業実施計画作成要領

第1章 序説

#### 1.1 東北タイの開発政策

東北タイ地方はタイ全国の中で、社会、経済的に最も貧困かつ後進的な地域であり、 近年タイ政府はこの地域の各分野に対して政府開発投資を通して地域格差の是正を計ろ うとしている。特に第5次国家経済社会開発計画(1982 -86) においては、貧困からの 解放、および所得格差是正を基本とした国家開発基本方針が強調されている。この中で 特に重要な課題は、地域の水資源開発により、かんがい用水、村落用水を最小限確保し、 かんがい農業の安定化を計ることである。

#### 1.2 東北タイ南部の社会的背景

東北タイ南部は、カンボジア国境に接した農村地域よりなり、東北タイの中でも貧困 度が高く、国家開発計画の中でも、緊急、最優先の特定開発地域の一つに指定されてい る。東北タイ南部の農村地域では、現在土地資源、人的資源に比べて利用可能な水資源 量は著しく不足し、殆どの地域が極めて不安定な雨期降雨による水稲単作に依存してい る。その生産性の不安定が低所得化、すなわち貧困の直接原因となっている。そして、 これが長期間の出稼ぎと都市への人口流出という社会的問題につながっている。

#### 1.3 小規模かんがい事業

現在タイ政府は部落(Muhan) 単位の小水資源開発事業を強力に推進し、早期効果の実現に努力している。タイ政府の18の機関が総合的にこの事業に参加しているが、RID はその中の一つの重要な機関として 1976 年 10 月に小規模かんがい事業 (Small Scale Irrigation Program—SSIP) を発足させた。

RID の SSIP は、現在政府小水資源開発事業の約 60 数の予算シェアーを有し、その中の約 50 数が東北タイ地域に配分されている。この RIDの SSIP は一地区当たりの事業費が400 万パーツ以内と規定されているため、その水資源開発の効果は部落単位もしくはそれ以下に限られており、その便益発生の範囲は極めて点的である。しかしながら、

SSIPは事業実施後において関係農民にかなりの早期的効果を与えており、農村開発の分野において極めて成功している政策として評価されている。SSIPの実施を希望する農民の声は高いが、予算総枠が限られていること、効率的に開発できる小水資源開発適地も減少しつつあること等により、SSIPによる農業拡大は望めない現状にある。

#### 1.4 中規模かんがい事業

RID では上記の背景を考慮して、SSIPに平行して中規模かんがい事業(Medium Scale Irrigation Project-MSIP)の推進を立案している。 MSIP 事業はその予算規模が最大 2億パーツと事業規模が大きいが、その計画立案、事業実施には長期間を要し、早期的 効果を期待することは出来ない。

## 1.5 中一小規模かんがい事業

RID はこのため、SSIPの拡大延長線上にある中一小規模かんがい事業(Small-Medium Scale Irriation Project — SMSIP)の構想を立て、今後の速効性ある水資源開発政策の中心にしようとしている。 RIDはその第一歩として東北タイ南部地域の最も貧困な農村地域にこの事業を導入して地域の所得向上と社会安定を計ろうとしている。

## 1.6 SMSIP の事業内容並びに計画立案の方針

SMSIP は中一小規模の渓流における水資源を開発して多数の部落にかんがい用水、村落用水を供給しようとするもので、SSIPの点的開発から面的開発への変換を指向したものである。SMSIP は事業規模として中一小規模の貯水池及び受益地区のかんがい用排水路よりなる。(SSIP は小規模貯水池のみ。)その事業予定地区は東北タイに数多く展開しており、東北タイ南部で構想化された地区数は60~70に及んでいる。個々の事業規模は中一小規模であるが、短期間に数多くの計画調査を実施し、事業の早期実現、事業効果の早期発現を目的とする事業である。

SMSIP は施設面では、SSIPに比べ規模の大きな貯水池、ダム、並びに多数の部落間を 通過する水路よりなり、また社会経済的には貧困地域の判断という、事業の計画立案に 際して、多くの調査すべき課題をもっている。更に SMSIPの事業を促進させるには数多くの候補地区の中より事業効果発生度の高い地区をいかに選択し、それらの地区のF/Sをいかに合理的にかつ迅速に実施するかの課題も克服しなければならない。

## 1.7. クライデリアノガイドライン作成の目的

RID では SMSIP事業計画作成(F/S) に当たって、上記の課題を解決する方法を検討中であり、そのモデル地区として東北タイ南部をとりあげている。本報告書はタイ政府の要請により、日本政府、国際協力事業団が実施した"東北タイ南部中規模かんがいパッケージ・プロジェクト"のF/S の結果に基づいて作成されたもので、その内容は中規模かんがい事業、特に中一小規模かんがい事業のF/S を合理的に実施するための基礎的資料、並びに解析資料のクライテリア/ガイドライン案を示すものである。勿論、この内容並びに提案は約1年間という短期間に Lam Plai Mat 並びにLam Chi Noi 流域のオーバーオール・ベーズン・スタディを経て、三地区のサブ・プロジェクト(一つは大型中規模、二つは中一小規模)のF/S に基づいて作成されたもので、SMSIP の構想計画調査立案のアプローチについては特に問題はないと思うが、個々に取り扱われた数値については、その方向性、まとめ方を提案したものである。これらの数値については、他の流域では異なるであろうし、また他流域のスタディによって暫時追加資料を補足して修正されていくべきであろう。

第2章 中一小規模かんがい事業の概念

## 第2章 中一小規模かんがい事業の概念

Nakhon Ratchasima にあるRID Regional VI 事務所では、管内5県(Nakhon Ratchasima, Buri Ram, Surin, Sisaket及びChaiyaphum)の中規模かんがい事業を極めて予備的に調査し、貯水池を含む事業として98地区の目録を作成している。この98地区の事業規模は F/S の結果に基づいて、表-2-1、並びに図-2-1のようにレビューされた。中規模かんがい事業 (MSIP)のうち、特に中一小規模かんがい事業(SMSIP)の概念が F/Sの結果並びに上記98の事業規模より検討され、以下のように提案されよう。

### 2.1 事業の目的

東北タイにおけるMSIP並びにSMSIP の目的は、地域に展開する中規模、中一小規模の河川流域の水資源を貯水池方式で開発し、その下流の既存水田地帯の低所得農民にかんがい用水並びにBHN (Basic Human Needs)型の用水を供給することにある。この用水供給により、農村地域の雨期水稲作の安定をはかり、農家所得の向上、農民生活の改善をはかることにある。

## 2.2 事業の定義

RIDのSSIP、MSIPの一地区当たりの事業予算は下表のように概略定義されている。 SMSIP 事業については現在、特に定義はないが、前述の 98 地区の資料検討の結果に基づくと、以下のように定義されよう。98地区の中、60~70际の事業がダム堤高 20 m 以下、事業費 1 億パーツ以下のものである。従って、この範囲に入る事業規模のものをSMSIP と定義することを提案したい。

事業名	事業費(百万小ツ)	<u> </u>
大規模(LSIP)	200 以上	<del>-</del> ,
中規模 (MSIP)	$100 \sim 200$	
中-小規模(SMSIP)	$4 \sim 100$	堤高 20m以下の貯水池、用水路有
小規模(SSIP)	4 以下	小規模貯水池のみ、用水路なし

Table 2-1 Medium Scale Irrigation Project Proposed by RID Region VI

	<del></del>	<del></del>			······································	<del></del>				<del></del>	DAH			CONST	RUCTION		Cost
				RTSD HAP	Drain-	Ave. Annual	Ave. Annual	table	Reser-		<del></del>	Embank.	Ser- Vice Area	Dane	(rrig.	Total	per Rei
No.	CHANG~	AMPHOE	PROJEC <b>T</b>	RO. (1: 50,600)	Sq.Ka.	Reinfail M	Runoff HCH	HCH	Capacity HCH	Height	<u>Length</u> H	KOLUBE KOLUBE	Rai	()×10 <sup>4</sup> )	(\$x10°)	(1x10')	(\$x10 <sup>3</sup> )
ı	CHATPUN	BANKET NARONG	HUAT SAT	\$340 111		1,148	13.3	10.4	17.1	14.0	1,260	288	8,940	40.3	40.2	80.5	9.0
3	4	H	LAH KAR Chu	\$339 [V	217.0	1,148	19.2	30.5	50.0	8.9	1,160	116	23,130	16.2	104.1	120.3	5.2
3	, n, 1		PANG TALAT	5333	Ų16.0	1,148	21.5	16.7	17.4	13.1	650	tt1	12.660	15.8	57.0	72.8	5.8
4	HAKORN BACHA~ SIHA	SIKIEV	HUAL SAI	3339 UU	162.0	1,059	26.9	17.8	29,2	21.0	1,300	184	11,510	141.1	8.85	219.9	12.6
5			OURAT-BUZ	5338 1V	23.0	1,059	3.8	2.5	4.1	10.0	895	tto	1,900	15.4	8,6	24.0	12.6
6	**	DARN KHUN TOD	HUA I UANG RONG	5339 [[[	56.0	1,157	10.5	8.3	13.8	11.3	600	92 .	6,300	12.9	28.4	41.3	6.6
3	o	16	HUAI PRASAT	5339	30.0	1.157	3.7	3.0	2.3	8,2	1,200	103	1,350	14.4	6.1	20.5	15.2
8	· · ·		HUA1 PRASAT	5339 [1]	67.0	1,157	12.5	9.9	16.7	15.5	1,160	321	8,730	44.9	39.3	84,2	9,6
. 9	и .		LAH CSTANC	5339 111	49.0	1,157	9.1	7.3	12.0	13.0	833	131	5,980	16.9	16.9	43.8	1.3
30	·	ь	HUAI PRONG	5339 111	41.0	1,157	1.7	6.1	10.0	13.2	1,150	236	5,000	33.0	27.5	55,5	n,t
11	p	n	HUAL PRONC	\$339 1V	30.0	1,137	5.6	4.4	1.2	11.8	445	74 -	3,340	10.4	15.0	25.4	7.6
12			UPPER HUAL JAB PONC	5339 [V	20.0	1,157	3.7	3.0	1.4	5.5	325	14	825	2.0	3,7	5.7	8.9
13	,n	PAK. CHONG	HUAI KROK	5337 IV	23.0	1,134	4,2	3.2	5.2	220	450	296	3,160	53.3	14.2	67.5	21.4
14 -			BAN, KLONG KRATHON	5337 17	113.0	1,134	20.4	15.6	25.6	15.1	950	250	13,420	35.0	60.4	95.4	.7.1
15			HUA I LAHCHANEE	5238 II	8.0	1,130	1.4	1.1	1.8	13.0	300	60	900	9.4	4.1	12.5	13.9
16			HUAL KLONG DEOR	5238 II	32.0	1,130	5.8	4.4	1.2	16.0	500	147	5,720	20.6	25.7	46.3	8.1
17	. "	"	KLONG DIN	5238 II	10.0	1,130	1.8	1.4	2,3	11.0	800	117	1,060	16.4	4.8	21.2	20.0
18			KFONG BOON	2335	7.0	1,130	1.3	1.0	1.64	15.0	300	78	1,160	LQ - 9	6.t	17.0	12.5
19		•	NUA1	5337 IV	23.0	1,130	4.2	3.2	5.2	0.31	300	88	2,900	12.3	13.1	25.4	8.8
20		"	HUAI SUB	5377 EV	14.0	1,130	2.5	1.9	3.1	10.0	700	86	1,445	12.0	δ.5	18.5	12.8
21	9	THONG THONG PAX	HUAT HU	5337 1	20.0	1,133	3.6	2.8	4.5	15.5	750	208	2,470	29.1	11.1	40.2	16.3
22		**	HUA1 TAPRON	5438 [[]	24.0	1,133	4.4	3.3	. 5.4	6.3	1.010	54	2,510	7.8	11.3	18.9	7.5
23		**	NGAO TAI	5337 19	9.0	1,130	1.6	1.2.	2.0	17.0	300	99	1,100	13.9	5.0	18.9	. 17,2
24	0.7	н	LAM CHTANG SA		96.0	1,133	17.5	13.3	21.8	52.0	390	1,337	13.900	240.7	62.6	303.3	21.8
25		"	LAH PRA- PERNG (1)	5337 IV	51.1	1,130	9,2	7.0	11-5	16.0	700	506	6,310	28.8	28.4	57.2	9. t
26	0	."	LAN PRA- PERNG (2)	."	0.08	1,130	21.5	12.8	29 - 1	\$3.0	400	285	17,890	\$1.5	80.5	132.0	1.4
27			BUAT XAR- SI-HA (1)	\$337 I	6.6	1,130	1.1	1.0	1.64	11.0	400	59	160	8.3	.3.4	11.7	15.4
28	,,	*	HUAI KAH- SI-HA (Z)	***	6.0	1,130	1.1	6.0	1.3	14.0	200	46	890	5.4	3.1	9,3	13.8
29	,		HUAT KAH-		23.1	1,130	4.2	3.2	5.2	10.0	400	49	2,440	6.9	11.0	17.9	1.3

													- '					
														•				•
			+:															
			·															
			1.1.		RTSD	Drain-	Ave.	Ave.	Regul	4- Reser		DYH		Ser-	CONS	TRUCTION	COST	Cost
	No.	CHANG-	HANNOE	DDO LCCY	HAP NO.	Area Area	Annuel Raintal	Annual		voir	<del></del>	Length	Volum	X. Vice	Dam	irrig.	Total	Rei
1		TAR	АНРНОЕ	PROJECT	(1: 50,00	0) Sq.Km.	101	нсн	HÇH	нсн	н	н	X103	Rai	(3×10°)	(1x10 <sup>4</sup> )	(#x104)	(\$x10 <sup>3</sup> )
	60 -	BUR! RAH	BAN KROAD	90N ARANG	\$438 11	98.0	1,256	20.3	18.1	29.7	12.5	1,290	239	13,720	33.5	61.7	95.2	6.9
	61	"	· ū	HUAL SAKAT	5538 [][	75.0	1,256	15.5	13.9	22.8	12.7	1,160	221	11,390	10.9	51.3	82.2	1.2
	62	. 4	•	HUAL LOT	543B	30.0	1.256	6.2	5.5	2. )	7.9	970	78	1,300	10.9	\$.9	16.8	12.9
	63	"	**	HUAI KROK AI WAN	5538 ·	24.0	1 255	5.0	4,4	2,5	10.0	1,240	133	1,500	21.4	6.8	27.3	18.2
	64	i.	PRA KAN	NONC VA	5537 IV	23.0	1,230	4.6	3.1	2.9	13.0	1,710	341	1,250	47.7	5.6	53.3	42.6
,	65	<b>n</b>	KRA SUNG	BAN KRANUNG	563B L	2,764.0	1,238	\$63.9	445.4	241.5	13.0	7,540	1,503	15,560	210.4	70.0	200.4	18.0
	66	SURIN	PRASART	HUAL KRA- BAN-RIEW	5637 t	36.0	1,176	6.9	6.1	7.8	13.0	2,110	421	3,125	\$8.9	: 14,1	73.0	23.4
	67			HUAL O-OHIER		19.0	1,176	3.6	2.9	4.8	7.0	900	\$8	2,190	.8.1	9,9	18.0	8.2
	58	. <b>"</b> :	n	HUAT RUNE	5538 II	70.0	1,176	บอ	10.9	1.0	5.0	1,000	36	500	5.0	2,3	7,3	14.6
	69			HUAL DON	5637 1	21.0	1,176	4.0	3.3	1.0	5,0	500	18	500	2.5	.2,3	4.8	9.6
	70			O-DAI- KRAHORH	5637 I	29.0	1,176	5.5	4.5	7,4	13.0	500	100	3,680	14.0	16,6	30.6	8.3
	71		•	HUA1 TA CHIEW	5638	44.0	1,176	8.4	6.8	11.2	6.0	2,200	109	5,140	15.3	33.1	38.4	7.5
	<i>i</i> 2	n		HUAT LAE	5618 11	235.0	1,318	51.9	49.1	20.0	8.0	2,000	164	12,000	23.0	54	17.0	6.4
	,,			HUA1 SANENG (UPPER)	8195	108.0	1.176	20.6	16.7	12.5	11.0	2,000	293	4,300	41.0	19,4	60.4	14.0
	74	**	KARP CHERNG	HUAI RA-KA	5737 IV	35.0	1,725	7.0	6.1	10.0	11.0	1,300	190	4,630	26.6	8.02	47.4	10.2
	75	. "	SANG- KHA	HUAI TA- PAO	5717 IV	13.0	1,225	6.6	5.7	9.3	15.0	600	156	4,970	21.8	22.1	43.9	8.9
	76	D .		KAH POAK	5738 111	70.0	1,225	14.1	12.2	10.4	11.0	2 200	322	3,500	45.1	15.8	60.9	17.4
	77	•		RUA I DAN	5737 1V	28.0	1 . 225	5.6	4.9	8.0	12.0	800	<b>137</b>	3, <i>1</i> 30	19.2	16.8	36.0	9.1
•	78		,,	HUA L CHERNG	"	31.0	1,225	6.2	5.4	8.9	15.0	1,300	338	4,540	47.3	20.9	68.8	14.7
	79	<b>**</b> ,		BUAL KKA- HARD HORN	5737 1	50.6	1,225	10.1	4.7	(4.3	15.0	600	156	7,480	21.8	33.7	55.5	7.4
	80	11		GARENCVAXE	. "	49.0	1,225	9.8	8.5	13.9	15.0	2,000	521	1,320	72.9	38.9	8.201	14.5
	81	. » ·	~	HUAT JARUS	**	69.0	1,225	13.9	6.51	19.7	28.0	1.000	1,039	12,290	187.0	55.3	242.3	.19.7
	92			HUAI SIED JERNG		45.0	1,225	9.0	7.8	12.8	19.0	700	284	7,510	19.8	33.6	73.6	9.8
	83	11		HUAT SUH RUN	5837 [V	130.0	1.225	26.1	22.6	37.1	22.0	1,000	658	22,690	118.4	102.1	220.5	9.7
	84	.••	SRIKORN- PHUH	- KRA DEDN	5738 IV	180.0	1,329	40.1	38.3	27.0	8.0	3,300	645	9,300	90.3	41.9	132.2	14.2
	85		**	KAN POK	5738 £	403.0	1,329	89.9	85.8	10.4	7.0	2,000	130	3,600	18.2	16.2	34.4	9.6
	86	SR15A- KET	KO-KUN	HUAI TUK	5838 I I I	135.0	1,275	28.6	26.1	42.8	25.0	1,500	1,257	26,740	226.3	120.3	346.6	13.0
	87		u	HUAI SA-RA		158.0	1,187	30.5	25.1	41.2	11.0	1,460	214	19,020	30.0	85.6	115.6	6.1
	88	н		HUAT O- TA-LAP	5838 11	17.0	1,275	3.6	3.3	5.4	15.0	600	156	2,840	21.8	17.8	34.6	12.2
	89	"	**	O-KAEH	**	19-0	1,275	4.0	3.7	1.0	4.0	600	. is	1,000	7.1	4.5	6.6	6.6
	90	. "	"	HUAT CHAN	u;	40.0	1,191	7.8	6.4	t0.5	23.0	300	215	6,430	38.7	28.9	67.6	10.5

						٠.												
											·							
									: .									
٠.			,										*					
						·					· ——-						<del> </del>	
					RTSD	Drain-	Ave.	Ave.	Regula- table	Reset-		DAH	Embank	Sec-	CONST	RUCTION	COST	Cost per
	No.	CRANG-	ЗОИЧНА	YROJECT	HAP NO. (1):	Area	Annual Rainfall	Runoff	Runoff	Capacity	Height	Length	CUH	Area	Dara	irrig. 4 Drain.	Yotal	Rai
		TAN		<del></del>	\$0,000		161	нсн	HCH	HCH	H	н	×103	Rai	(#×10 <sup>1</sup> )	(#x10 <sup>4</sup> )		(#x10 <sup>3</sup> )
	10	nakorn Racha- Sina	PAK. THONG CHAL	KLONG BONG (1)	533 <i>1</i> 1	21.8	1,130	3.9	3.0	4,9	25.0	500	199	3,080	10.2	13.9	44.1	14.3
	ົນ	n	n	KLONG PAI	"	29.1	1,130	5.3.	4.0	6,6	11.0	300	44	3 030	6.1	. 13.6	19.8	6.6
	12	н	n n	KLONG PAL	" "	27.3	1,130	4.9	1.7	6.1	0.13	600	88	2,800	12.3	t2.6	24.9	8.9
.**	33		11	KLONG PONG		14.0	1,130	2.5	1.9	3.1	16.0	400	118	1,720	16.5	7.7	24.2	14.1
	34	u 1	PAX TRONG CHA1	BA-E-TAN	5638	14.0	1,130	2.5	1.9	3.1	9.0	500	51	1,450	7.1	6.5	13.6	9.4
	35	**	KORN	HUAI SAKAE		91.0	t,056	15.1	10.0	16.4	13.5	1,060	227	8,400	31.8	37.8	69.6	8.3
	36	h	aurī "	HONG LUKPUK	11 5417 1	25.0	1,065	4.4	2.9	4.4	12.0	1,160	190	1,870	24.1	8,1	32.1	17.2
:		.,	H		•								. 252	51,310	225 (	230.9	456.3	8.9
,	38			HOON BOM		446.0 601.0	1,056	74.0 99.8	49.1 66.1	108.4	33.0 29.5	880 2,370		69,080	4.5	310.9	800.5	11.6
	. 39	. 12	. 20	HUAT TAP	5437	33.5	1,130	5.1	4.6	7.5	23.0	650	465	4,630	83.7	20.8	104.5	22.6
	40		 n	KOUR IIVAE PONG	IV 5437	13.0	1,200	2.5	7.1	3,4	20,0	150	193	2,030	34.7	9. l	43.8	21.6
	61		CHOKE	HUA1	1 5438	<b>\$6.0</b>	1,056	11.0	7,3	12.0	n.4.		205	5,530	28,8	24.9	53.7	9.3
	42		CHAI SOENG	SANPHET HUAL RIN	5437	31.0	1,056	<u>5,1</u>	4.2	1.9	16.0	460		1,250	18.9	s.6	24.5	19.6
	43		SANG	HUAI TOEY	5337	37.0	1,056	6.1	5.1	6.5	14.0	1,890	432	2,060	60.5	9.3	69.8	33.9
	44	, n		RUAL SADAO	iv"	12.0	1,056	5.3	4.4	5.5	13.6	950	206	1,875	28.8	8.4	37.2	19,8
	45		.,	KEONG LAH	5437	91.0	1,200	17.8	Į4.9	7.5	11,0	1,100	161		22.5	11.3	33.8	13,5
	46	1€		LARK HUAT PREAK	I	112.0	1,056	18.6	: 15.3	19.7	31.0	680	858	43	154.4	38.0	192.4	22.8
	47			LAN PRAI	1 "	485.0	1,065	77.4	57.0	97.3	44.5	1,160		56,870		238.1		
	: 48	: BUR1	LA RAN	HAT LAH HANG	5537	450.0	1,200	88.2		121.0		٠					524.)	9.2
	49.	RUN	SAI	RONG LAN CHANG		-	•				23.5	1,500		74,160		333.5	534.7	1.2
				HAN		130.0	1,200	29.4	25.8	34,3	21.0	1,780	1,073	11,880	193.1	53.5	246.6	20.6
	50		19	LAH PATHIA		100.0	1,200	19.5	16.4	26.9	19.0	1,030	419	15,190	58.7	31.1	129.8	8.2
	Sl		RAN KROAD	STER STER MATE		45.0	1,466	11.3	10.5	5.2	15.0	1.880	489	5,000	68.5	22.3	-91.0	18.2
٠.	52	п		BULL LAUH	5637 EV	21.0	1,312	4.6	3.7	6.4	20.0	840	275	1,380	42.4	t6.8	59,2	13.5
	5.)		n	TAK SEN	. "	12,0	1,465	3.0	3.2	5.2	17.0	. 240	79	2,960	11.1	13.3	24.4	0.2
	54		м.	RUAL SIEV	**	179.0	1,146	40.6	39.2	54.3	15.0	1,500	390	33,730	54.6	151.8	206.4	6.1
	55	**	•	HUAT MAEKA	, <b>u</b> ;	21.0	1,466	5.3	5.6	9,2	17.0	530	175	5,160	24.5	23.2	47.7	9.3
	56	. **	"	HUAE KA KO	eri or ett. Santa	33.0	1,466	5.8	6.1	10.0	15.0	1,100	286	5,250	40.0	23.6	6),6	12.1
	57	"		HUAI TAKAO		12.5	1,466	3.2	3.3	5.4	11.0	1,250	183	2,510	25.6	ii.3	36.9	14.7
4				HUAI O-PRING		25.0	1,466	6.1	6.6	; to ,8	16.0	1,500	441	5,960	61.7	26.8	88.5	14.8
1.0	39	n		SAN KOK	5638	77.O	1,346	17.5	16.9	27.7	7.0	1,200	78	12,820	10 9	57,7	68.6	5.4
				KRA CHEONG	ш											1	•	•
						4 . 14 . 4									-			
	ing.																	
+ :								:					·					
*																		

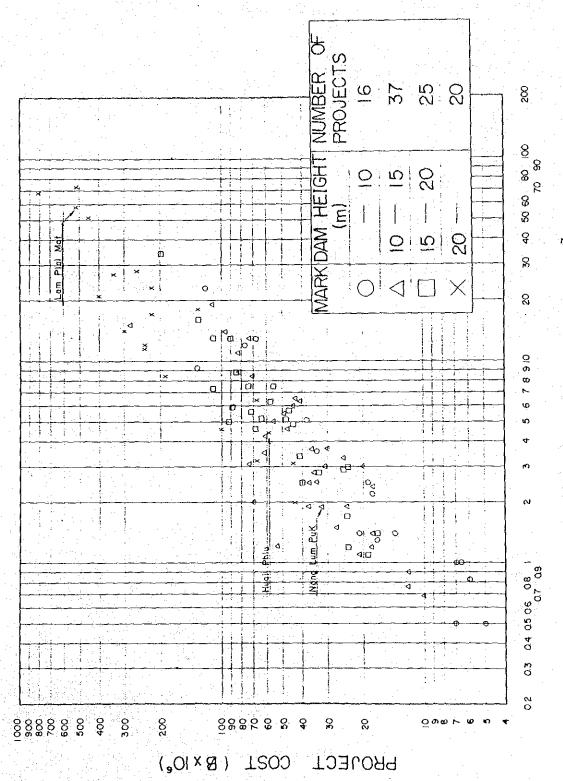
No.	- DHAHD TAW	YMOROR	PROJECT	RTSD MAP ND. (1: 50,000)	Brain- age Area Sq.Ka.	Rainfall Ro		Pupula.	Reser- voir Capacity HCH	DAN				CONSTRUCTION COST			Cost
							Annual	table		Haight M		Embenk. Volume CUH x10 <sup>3</sup>		Dam (åxl0 <sup>6</sup> )	lrrig. å Orain. (≸xt0⁴)	Total	(8×10 <sup>1</sup> )
92	"	•	HUA! TA BANG	5837 I	25.0	1,191	4.9	6.D	6,6	15.0	700	192	3,439	25.5	15.4	40.9	11.9
93	9	н.	HUAI DAN-	5937 IV	33.0	1,257	6.9	6.1	10.0	17.0	1,000	329	5,630	46.1	25.3	11.4	12.7
94		44 -	HUAI DAH	n	22.0	1,247	4.5	4.0	6.5	10.0	1,000	123	-3,020	17.2	13,6	30.8	10.2
95	21	19	HUAI SANG KOD	n .	47.0	1,247	9.7	8.6	14.1	10.0	800	98	6,520	13.7	29.3	43.0	6.6
98	H	n .	HUAI TA-		43.0	t,647	12.3	14.4	2.0	4.0	700	17	1,000	2.4	4.5	6.9	6.9
97	a	KAHTRA- LUK	HUA KA- YUNG	. н	149.0	1,247	30.7	27.1	44.4	27.0	900	776	27,770	139.7	125.0	264.7	9.5
98	18	. 4	HUAI CHAN HORM	5942 LL	8.8	1,247	1.8	1.6	2.6	12.1	520	91	1,220	12.7	5.5	18.2	14.9

- Note 1. Proposed damsites are preliminarily selected by RID Regional Office VI.

  Data of drainage area, annual rainfall, dam height and dam length are same as the original dimensions prepared by RID VI.
  - 2. Data of annual runoff, reservoir capacity, dam embankment volume, service area and construction cost are reviewed by the result of Feasibility Study.
  - 3. Dam embankment volume is approximately estimated by the formula as shown in Figure 3-2 in this report.
  - 4. Construction cost of dam is approximately estimated based on an average unit rate of \$ 180/m³ for dam more than 20 m height and \$ 140 for dam less than 20 m height.
  - 5. Construction cost of irrigation/drainage canal is approximately estimated by an average unit rate of \$ 4,500/Rai.

Figure 2-1. Relation : Service Area - Project Cost

Dam Height



## 2.3 事業の対象施設並びに実施機関

末端かんがい施設、及び各部落内の公共的水利用施設(部落ポンド、養魚施設、飲雜用水施設等)の建設は内務省地方行政局(Dept. of Local Administration - DOLA)が統括している地方自治制度を活用した農民組織が実施する。勿論関係官庁の強力な技術指導、最小限の財政援助が農民組織に与えられる。

現在、RID のMSIPの建設基準によると末端かんがい施設の最小限の大きさは 50 33で、その計画、建設はRID が実施している。東北タイの農民組織では 50 33内の圃場施設の建設、並びに建設後の水管理には困難性があると想定されるので、RID が実施する施設の末端かんがい面積を 25 33まで小さくすることを提案する。

## 2.4 施設の維持管理運営

SSIPでは、貯水池の維持管理運営は農民組織で実施されており、農民組織では困難な貯水池の修理のみRID によって実施されている。 SMSIPでもこの方式がとり入れられるべきで、貯水池、受益地区への水配分施設の維持管理運営は、末端の水利用グループを統合した各地区別水利用連合体が設立されて実施されよう。しかし、SMSIP のRID 建設施設の規模は SSIP に比べて大きいので、建設後直ちに水利用連合体に引き渡すことは不可能であろう。水利用連合体は、関係部落より数人の若者を維持管理運営の中心的存在として選び、 RIDの既存施設で訓練をさせ、 SMSIP 建設の完了後、その施設維持管理運営に従事させる。勿論、 SMSIP の当初 2~3 年の期間の維持管理運営は RIDによる技術援助が必要である。 RID は、水利用連合体が自身で維持管理運営を出来る段階になってモニターに切り替える。施設の重大かつ困難な修理は SSIP 同様 RIDによって実施される。

## 2.5 地区選定と事業計画策定までの手順

東北タイにはMSIP、特に SMSIPの予定地が数多く存在するが、事業計画策定の基礎資料は著しく不足しているので、以下の手順で計画調査、地区選定がなされよう。

## (1) オーバーオール・ベーズン・スタディ

オーバーオール・ベーズン・スタディは 2~3 の支流域(4,000 ~ 5,000 sq.km)においてMSIP、SMSIP の事業を発掘、選定するために行う計画調査業務である。一般的に支流域には計画調査のための基礎資料が不足しているので、オーバーオール・ベーズン・スタディでは、これらの基礎資料を収集、整理、解析する業務と、貯水池計画が技術的に可能な事業予定地区の選定業務が含まれる。一般的に、1支流域において 10 前後の技術的に可能な SMSIP地区が発掘されよう。 2~3 の支流域で予定される20~ 30 のSMSIP 地区に対し、各支流ごとに適正な選考基準に基づき優先順位が付けられ、行政的配慮が加えられて、10~15地区にしばられ、一つのパッケージ事業が組み立てられる。オーバーオール・ベーズン・スタディの過程において大規模、中規模事業の発掘可能性もあるが、それらは、SMSIP 地区の対象より除外する。

#### (2) バッケージプロジェクトのフィジビリティスタディ(F/S)

選定された10~15地区の事業実施可能性を技術的、経済的、社会的、組織/制度的な 観点より調査計画し、事業実施計画を作成する。フィジビリティ・スタディの業務内容 は一般のF/S と同様であるが、合理化かつ簡素化した方法が導入されよう。

### (3) 受益農民の計画作成への参加

パッケージ・プロジェクトの選定後、タイ政府関係機関は受益範囲に予定される関係 部落に必要な事業構想の説明を実施し、その反応と要望を聴取する。

F/Sの後半において、地区別受益範囲が確定化されるにつれて、タイ政府関係機関の関係部落への接触が増加し、受益農民の計画作成への参加が計られる。この最終段階に

おいて末端かんがい施設及び各部落内の公共水利施設にかかる農民組織が形成される。 又、その連合体により各地区の末端かんがい施設、公共水利施設の事業申請書が作成され、タイ政府へ提出される。

## (4) 事業実施計画の策定

SMSIP は一地区当たりの事業量からみて、国際資金援助機関からの援助を得て実施される場合には10~15地区を含むパッケージローン型式か、セクターローン型式のいづれかがとられるものと考えられる。パッケージローン型式の場合には、10~15地区の各々の F/Sを完了しておくべきであり、セクターローン型式の場合には、コアーとなる 3~4 地区程度の F/Sを完了しておく必要がある。 F/S完了後、タイ政府は国際資金援助機関へのローン要請→プロジェクトアプレイザル→ローン協議の手続きを完了して、事業実施に入る。

## 2.6 事業実施のフローチャート

事業実施計画決定後、実施設計、建設工事、そして維持管理運営の段階へと進む。地 区選定から維持管理運営に至る手順は図-2-2のフローチャートで示される。

## 図 2-2 中小規模かんがい・パッケージ事業の

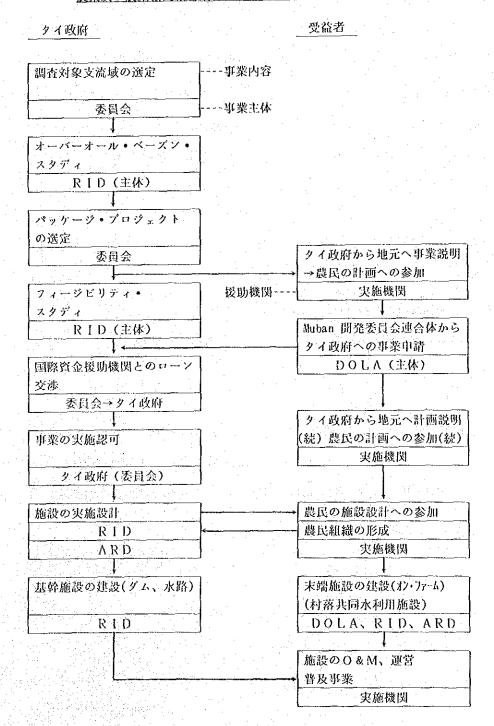
調査、計画、実施、維持管理のプローチャート

#### 実施機関

<u>農業及び協同組合省(MOAC)</u> 王室かんがい局(RID)、農業普及局(DOAE) 水産局(DOF)、畜産局(DOLD) 組織推進局(DOCP)

<u>内務省(MOI)</u> 地方行政局(DOLA)、共同生活体開発局(CDD) 農村開発推進局(ARD)

農業及び農業協同組合銀行(BAAC)



第3章 オーバーオール・ベーズン・スタディの基準/指針

オーバーオール・ベーズン・スタディは、調査対象地域に選ばれた支流域単位で実施される。計画調査は流域全体に対する種々の調査と優先度の高い SMSIP地区を選定するための調査に区分される。前者は一つの支流域の社会、経済、農業の全貌を把握してかんがい農業の必要性を明らかにすることにある。又、貯水池を持つかんがい農業と BHM型用水供給に対する、計画調査の基礎的資料を収集、整理、解析すると共に、技術的に可能性のあるSMSIP 地区の発掘を目的とする。後者は、発掘された地区に対し、その技術的、経済的可能性を検討し、事業規模、事業費を概定することにある。更に、数多くの地区の中より優先度の高い地区を選定して、F/S のためのパッケージプロジェクトを組み立てる。この場合発掘された SMSIP候補地区の中から F/Sへ持ち込む地区の選考プロセスは次の通りである。

- (1) 1/50,000地形図を使用して、開発可能と思われるダム・サイトの目録作成
- (2) 上記のダム・サイトを地形・地質的踏査をして、ダム及び貯水池の建設可能性 チェック (第一次選抜)
- (3) 流域マスター・プラン的アプローチを通じて、各地区の必要度、優先性の評価 (第二次選抜)
- (4) ダム及び貯水池サイトを航測図化して、1/10,000地形図 (コンター 1 m) の作成
- (5) 第二次選抜後の地区について、次の規模の予備的概定
  - 貯水池及びダム構造 - かんがい受益範囲

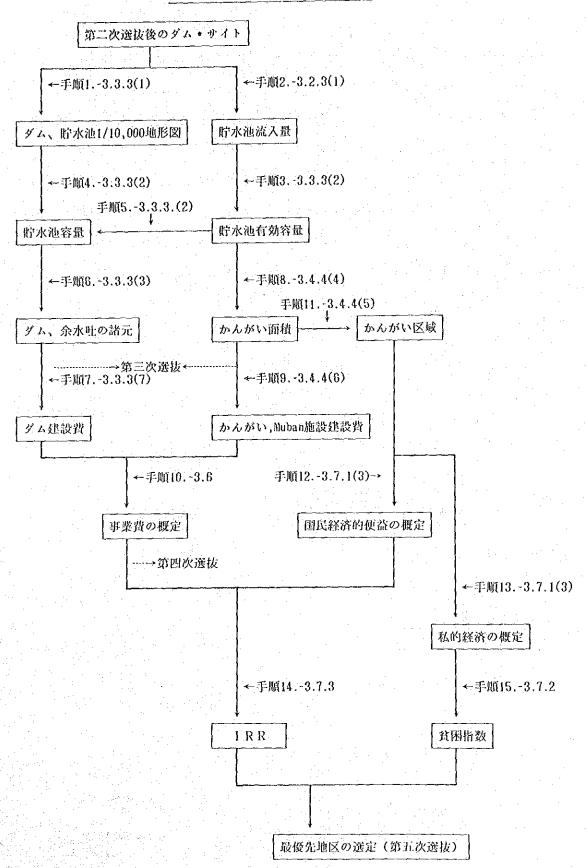
(第三次選抜)

(6) 第三次選抜後の地区について、事業費の予備的概定

(第四次選抜)

- (7) 第四次選抜後の地区について、所得レベルと経済評価を行い、最終選抜 (第五次選抜)
- (8) タイ政府当局によって、F/S へ持ち込む地区の選定

第二次選抜後の SMSIP地区計画の順序は、図-3-1 の通りである。



このオーバーオール・ベーズン・スタディでは河川系統、開発レベル、貯水池計画などを考慮して、既存の統計資料、タイ政府各部局が有する資料を最大限に利用して、現地作業を必要最小限度に押さえて、出来るだけ短期間に資料の解析が行われる。計画調査の上で必要な課題は下記の通りで、その基準/指針について述べる。

## 3.1 支流域の分割

1支流域(4,000~5,000 sq.km)を一括して以下の調査を進めるには余りにも大きすぎるので、その支流域を更に数個の小支流域(サブ・ベーズン)に分割する。この方法により調査の迅速化と問題点の的確な把握が促進される。このサブ・ベーズンへの分割は河川系統、開発レベル、貯水池計画、既存かんがい施設等を考慮して行うべきである。サブ・ベーズンの流域界は、5万分の1地形図を縮小した1万分の1地形図上に画き、そしてプラニメーターで面積を測定しておく。

F/S 結果では、Lam Plai Mat支流域が4つのサブ・ベーズン、Lam Chi Noi 支流域が7つのサブ・ベーズンに区分され、計画調査が実施された。その事例は様式-3-1 に示される。

#### 3.2 気象・水文調査

#### 3.2.1 資料の収集・整理

調査対象支流域単位ごとに、(1)河川の地形的把握と(2)気象・水文諸量の資料収集・整理を行う。

#### (1) 河川の地形的把握

5万分の1の地図(コンター間隔:平野部で 20m、山岳部で 10m)に記載されている河川の地形的特性、すなわち、河道の明確化と流域界の設定と面積測定を行って、主要河川の縦断面を作成する。

## (2) 気象・水文諸量の資料収集・整理

調査対象流域のみならず、その近傍にも目を向けて、RID、国家エネルギー庁 (National Energy Administration - NEA)、運輸省気象局 (Meteorological Dept. - MD)等の既存観測資料の項目、方法、期間の一覧表を作製する。一方、これらの観測点を 25 万分の1と5万分の1に記入し、水文関連の観測点については流域界設定とその面積測定を実施し、又、気象関連の観測点については、ティーセン法により支配区域を設定する。

- 気象、水文観測点の位置並びに観測期間。
- 日、月、年別降雨量。
- 月、年別温度、湿度、蒸発、風速、日照時間。 (作物別消費水量の算定に使用する修正ペンマン方式に必要なデータを 含む)
- 日、月、年別流量。
- 流量観測点の水位とレーティング・カーブ。
- 最大洪水量、水質、堆砂量。

上記の中、最大洪水量、堆砂量については、調査対象流域あるいは隣接流域において、既に計画、実施された事業レポートにおける資料をも収集する。

#### 3.2.2. 現地調査と若干の観測

調査対象支流域単位に見るとき、気象・水文観測の密度は極めて低いので、当該支流域とその近傍の観測点の全部を現地調査し、既存観測データを補足する必要最小限の観測を行う。

- 既存観測点の確認と観測精度のチェック。
- 河川水位、河川巾、堆砂などの河川状況の観察。
- 各支流域の地勢、植生。

- SMSIP の可能性のある水系主要地点での流量観測並びに水質検査。
- 新規気象、流量観測点の位置選定、観測機器、観測方法の構想樹立。 この設置は、オーバーオール・ベーズン・スタディの最終段階である最優先地 区選定後直ちに行われるべきである。

#### 3.2.3 気象・水文解析

#### (1) 河川流量

SMSIP のダム建設候補地点を有する中規模サイズの流域には観測データは、まず存在しない。従って、推定せざるを得ないが、その方法は流域降雨と適切な降雨一流出モデルを作成して両者の合成による。F/S 調査の結果から、貯水池計画に使用されるダム・サイト地点の河川流量は最近15年間程度の再現が必要であろう。

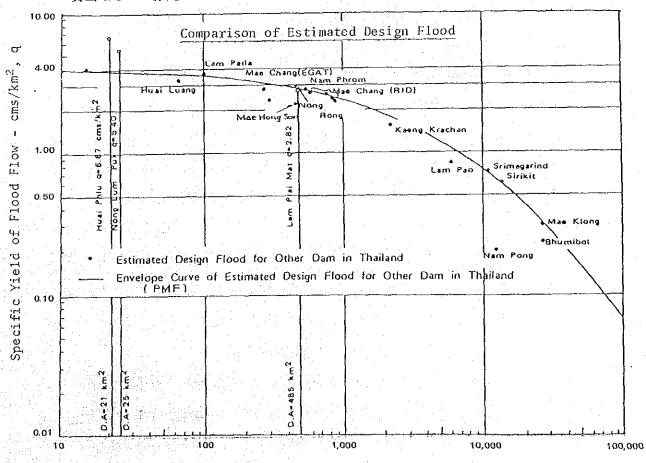
- 流域面積日雨量はティーセン法による。
- 降雨-流出モデルは近傍の流量観測データとその面積雨量との関係から作成される。東北タイ南部の降雨-流出関係には大きな特徴があり、1月からの累加面積雨量と1月からの累加流出量を両対数紙にプロットすると、累加雨量約300ミリ迄は流出量が非常に小さくて、その後の両者は直線関係で増加する傾向がある。そして少なくとも2年間、できれば数年の流出データが存在すれば、観測誤差を吸収した一直線を設定することができる。累加雨量300ミリ迄の小流出量が貯水池計画に与える影響そのものは小さいので無視できるものであり、この方式で長期間の流出量を推定することが可能である。但し、この流出モデルで短期間の、例えば、5日、10日間の日平均流出量を推定するには無理があり、少なくとも月単位の流出量に限られるが、東北タイ南部の貯水池運用から見た場合、これで十分な精度をもった計画が樹立できる。

この降雨-流出モデルは、当該流域の土地利用、特に水田利用に支配 されており、この影響を変更出来るようにしておく必要がある。この影響は、自然植生と水田の蒸発散量(修正ペンマン法により計算可能)の 差と水田浸透量を与え、流域内の水田面積率が適宜推定されて修正される。F/S 結果に基づくM93 (流域面積 329 km²で Lam Chi Noi川支流のHuai Seo) での解析によると、水田なしの状態で次の通りである。

-11 4.98 Σ流出量 = 2.854 × 10 × [Σ面積雨量] (両者とも単位は mm で、1月からの累計)

## (2) ダム洪水吐計画洪水量

タイ国におけるダムの設計洪水量基準は 500年確率とされている。F/S 段階では、 事業地区の隣接流域の Lam Sae、Lahan Sai 観測所の日雨量より 500年確率日雨量を 求め、ユニット・ハイドログラフを作成して、この 500年確率洪水量を算定した。そ して、この洪水量はタイ国の他のダムの計画洪水量の包絡線と下表のように比較され た。F/S の詳細計算結果とこの包絡線との関係は極めて良好であり、F/S の洪水量は 妥当なものと推定される。



Drainage Area - km²

F/S レベルでの 500年確率洪水量の貯水池内貯留効果計算の結果を見ると、洪水吐構造の地形・地質的制約を考慮に入れても、最小限 30 際のカット効果が見られる。 しかしながら、他のダムにおいては、貯水面積、洪水吐溢流水深、洪水量などが異なるので、貯留効果による洪水量カットはそれぞれのダムで検討する必要があろう。

#### (3) 貯水池内堆砂量

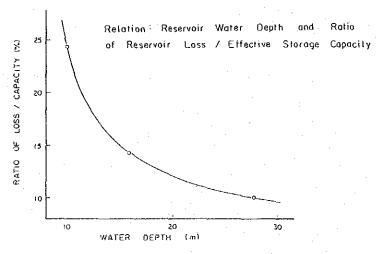
現在 RIDでは、東北タイ地域の貯水池計画に対し、年当り 150 cu.m/sq.km を単位量とし、その 100年間を計画堆砂量としている。この数値で特に既存貯水池の急激埋没問題はないようである。従って、この数値を堆砂量の価として採用する。

#### (4) 貯水池損失

F/S では、貯水池からの損失は蒸発と浸透を考慮して、月別に次のように推定された。

月 <u>4</u> <u>5</u> <u>6</u> <u>7</u> <u>8</u> <u>9</u> <u>10</u> <u>11</u> <u>12</u> <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>6</u>計 損失(mm) 108 71 66 64 61 56 63 109 139 143 134 141 1,155

F/S のリザーバーオペレーションの結果、旬別の貯水面積をもとに貯水池損失が求められた。貯水池の最大水深をパラメーターとし、有効貯水量に対する30年間の平均損失の割合をプロットすると次の様になる。



## 3.3 貯水池・ダム計画調査

#### 3.3.1 資料の収集・整理

調査流域に関する地形図、航空写真、RID で予備的に調査されたMSIP、SMSIP 地区の概要、既に実施されている貯水池事業のレポート (SSIPを含む)を収集し、貯水池・ダムに関して以下の整理を行う。

# (1) SMSIP クラスとそれ以上の貯水池サイトの図上選定

5万分の1地形図に基づいて、以下の点に留意しながら、貯水池サイト候補地点の 図上選定を行う。

- 一般に流域面積の小さい、例えば 30 平方もな以下の支流では、流域の河川勾 配がきつく、堤高 15 な以上のダムでないと必要な貯水容量が確保できない。
- 流域の大きな支流では、河川勾配がゆるいこと、河川流量が大きいことにより、堤高の低い堤長の長いダムサイトでも貯水池としての建設可能性が高い。
- 貯水池内の村落、耕地などの補償物件並びにダムサイトへのアクセスの確認。

#### (2) 既存資料の整理

既存の計画、あるいは実施済みのレポートに基づき、以下の貯水池ダムに関する資料をまとめ、貯水池計画の参考資料とする。

- 年間平均流量と貯水容量の関係
- ダム洪水吐の計画洪水量
- 貯水池の堆砂量、浸透量
- ダムサイトの一般地質並びに土取場の土質資料

## 3.3.2 現地踏査

5万分の1地形図において図上選定されたダム、貯水池を以下の点より現地踏査し、 建設可能性のある貯水池サイトの選抜を行う。

- 5万分の1地形図のコンターはメインが20 称、補間が10 称で、この地形図上で選定されたダムサイトの位置は現実とかなり相違がある。現地踏査において、ダムサイト及び貯水池内の地形を確認し、特に堤高の低いダムサイトではそのアバットメントの地形、地質的な確認に留意する。
- ダムサイトを流下する河川、ないしは渓流の形状、流況を慎重に踏査し、その特性を把握する。特に、河川巾は流量に大きく関連するので、流域面積と対比し、 調査サイト間の比較をしておくことは水文解析に当たっての重要なインプットに なる。
- 貯水池、ダムサイトの概略地点構造を踏査により把握し、問題点をピックアップ する。特に、ダムサイト及び貯水池からの漏水について留意する。
- ダムはアースフィルタイプで計画されるので、盛土材料の土取場候補地を調査する。
- 貯水池内の村落、耕地の存在及びダムサイト/土取場へのアクセスなどについて 現況を調査する。この現地調査の結果、ダムサイトとして明らかに不適な条件を もった地区は第1次選抜として除外される。

## 3.3.3 貯水池、ダムの予備計画

## (1) 1万分の1地形図の作成

現地踏査結果に基づくと、貯水池容量、堤高、堤長などを5万分の1の地形図で判定することは非常に困難であるので、第1次選抜で選定されたダムサイトについて航空写真の図化により、1万分の1地形図を作成する。

## (2) 貯水容量の概定

地形図1万分の1に基づいて貯水池のH-A、H-V曲線が作成され、最適貯水容量の検討に使用される。東北タイ南部では、水資源に比べて受益地内の既存の雨期水稲栽培面積が著しく多く、水不足に悩んでいるので、貯水池は経済性の許す範囲で出来るだけ大きい容量で計画される。F/S 結果に基づく流域面積、年平均流入量、有効貯水量の関係は下表の通りである。

	<u>Lam Plai Mat</u>	<u>Lam Chi Noi</u>	<u>Huai Phlu</u>
A. 流域面積(sq.km)	485	25	21
B. 年平均流入量(MCM)	77,4	4.4	4.6
C. 有効貯水量(MCM)	90	4.0	6.0
B/A (mm)	160	175	219
C/B	1.2	0.9	1.3

この表から、年平均流入量の 1.0~1.3 が計画有効貯水量として考えられ、流域面積が大きい程、また面積降雨量が大きい程、この係数は大きい。

## (3) ダムタイプ、標準断面の概定

東北タイ南部に展開する 98 箇所の中規模ダム (図-2-1参照) を検討してみると、 約 70 偽の事業が堤高 20 気以下の SMSIPに属すると判断される。従って、ダムの基 準/指針は堤高 20 気以下のダムに与えられよう。

- ダムタイプは均一型アースフィルダム
- ダム標準断面は、天端巾 6.0、上流法面勾配 1:3.0、下流法面勾配 1:2.5
- ー ダムカットオフトレンチ巾は 6.0~8.0m (15m 以下は6.0m)
- 余裕高は設計洪水位より、堤高 15m以下に対し 1.0m 、15~20m に対し、1.0m+ 0.5H.

## (4) ダムサイトの地質及び土取場調査

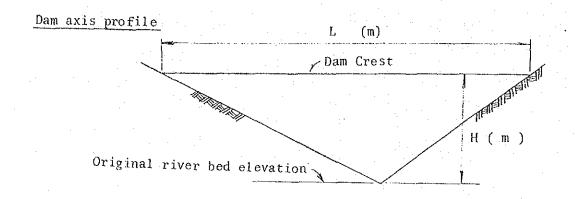
オーバーオール・ベーズン・スタディではダムサイトの地質、土取場調査などの調査工事 (ボーリング等) を行う必要はなく、地表観察のみで判断して差し支えない。 しかし、将来の F/Sに際しての必要調査工事内容を検討把握しておくことにする。

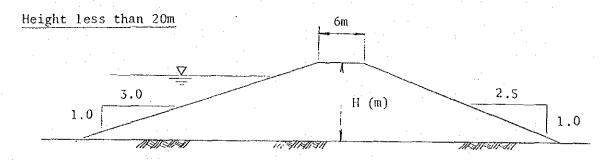
#### (5) 洪水吐

#### (6) 築堺量の概算

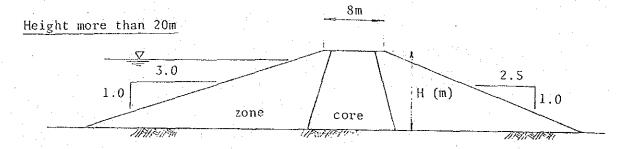
築堤量は1万分の1地形図に基づいてかなり正確に計算できるが、SMSIP のダムは 地形が平坦なサイトに構築され、カットオフトレンチも浅いので、図-3-2の方法で算 定しても差し支えない。

Figure-3-2. Calcuration of the Dam Embankment Volume





Section Area,  $A = (6+6+5.5H) \times 1/2 \times H = 2.75H^2+6H$ Volume  $V = 1/3 \times A \times L \times \alpha = (0.92H+2) \times H \times L \times \alpha$ 



Section Area,  $A = (8+8+5.5H) \times 1/2 \times H = 2.75H^2 + 8H$ Volume  $V = 1/3 \times A \times L \times \alpha = (0.92H+2.7) \times H \times L \times \alpha$ 

where,  $\alpha$  is increased factor for embankment due to the stripping and cut off trench excavation on dam foundation.

Trench excavation with a shallow depth  $\alpha = 1.10$ Trench excavation with a deep depth  $\alpha = 1.20-1.30$  F/S の三つのダムについての実際の築堤量と図-3-2より算定したそれとの差は、以下の通りで、10<<br/>
际以内の誤差の範囲に入る。

-	· •		
	<u>Lam Plai Mat</u>	Nong Lum Puk	Huai Phlu
A. 概算数量 地図よりの堤高(m) 地図よりの堤長(m) 係数 α 築堤量 (cu.m)	32.6 1,100 1.3 1,524,000	12 1,100 1.1 189,000	20 650 1.1 292,000
B. F/S 数量 (cu.m)	1,656,000	190,000	274,000
C. 比率	0.92	0.99	1.07

## (7) ダムの工事費概算

ダム工事費の概算は築堤量と、築堤量に対する平均単価に基づいて算定する方法がある。 F/Sの結果に基づき、この方法で算定した価は以下の通りである。

Lam Plai Mat Dam	286,200,000バーツ ÷	1,656,000m³=173 N-7/m³
Nong Lum Puk	24,300,000バーソ ÷	190,000m³=128 אר"א/m³
Huai Phlu	42,400,000バーツ ÷	275,000㎡=154 バーツ/㎡

一般に堤高の低いダムは、深いカットオフトレンチやグラウトを必要としないので、 堤高の高いダムに比べて安くなる。ただ上記の方法では精度が余り高くないので、ダ ムの工事費を堤体関係と洪水吐に区分して検討してみた。何故なら、洪水吐工事費が ダム工事費に占める率は約30 なと大きいからである。 F/S結果に基づく単価分析は 以下の通りである。

## i) 堤体工事費に対する単価(洪水吐を除く)

Lam Plai Mat, 207,500,000  $n-y \div 1,656,000$   $m^3 = 125$   $n-y/m^3$  Nong Lum Puk, 16,900,000  $n-y \div 190,000$   $m^3 = 88$   $n-y/m^3$  Huai Phlu, 34,100,000  $n-y \div 275,000$   $m^3 = 124$   $n-y/m^3$ 

この結果ではグラウトを有する Lam Plai Mat, Huai Phluの立方統当たりの単価 が高くなる。この三ケースで判断は出来ないが、一応の指針として、立方統当り約 130 バーツ、立方統当り 90 バーツが概略単価として考えられる。

## ii) 洪水吐工事費に対する単価

東北タイにおける洪水吐は地形平坦かつ地質が同じようなサイトに作られる。 そしてコンクリート構造物は溢流せきにのみに存在し、シュート、静水池は素掘り になる可能性が高い。この場合、溢流せき、並びにシュート、静水池の断面は、地 形、地質に変化がない場合は、洪水吐計画洪水量に概略比例すると考えられる。 F/S の結果、洪水吐計画洪水量による単価は以下のようである。

Lam Plai Mat, 78,700,000  $\cancel{N}$   $\cancel{N}$   $\cancel{N}$  Nong Lum Puk, 7,400,000  $\cancel{N}$   $\cancel{$ 

この結果に若干の余裕をみて、洪水吐工事費は毎秒・立方称当たり約6万バーツ 位で推定してもよいと思われる。

上記より、ダム工事費の概算は築堤量と洪水吐計画洪水量を知ることによって把握することが出来よう。 SMSIPではダム工事費が事業費に占める割合は約 70 欲と大きいので、ダム工事費が予定される受益面積に比べ著しく高いものは第3次スクリーンとして除かれる。

### F/Sの結果に基づく三事業の33当たりのダム費用は以下の通りである。

Lam Plai Mat,  $286,200,000 \text{ N-Y} \div 9,100 \text{ Ha} = 31,500\text{N-Y/Ha} \text{ (US$ 1,360/Ha)}$ Nong Lum Puk,  $24,300,000 \text{ N-Y} \div 300 \text{ Ha} = 81,000\text{N-Y/Ha} \text{ (US$ 3,520/Ha)}$ Huai Phlu,  $42,400,000 \text{ N-Y} \div 700 \text{ Ha} = 60,600\text{N-Y/Ha} \text{ (US$ 2,630/Ha)}$ 

#### 3.4 かんがい排水計画調査

#### 3.4.1 資料の収集、整理

かんがい排水計画調査の資料としては、当該支流域、あるいは必要に応じて隣接流域において既に計画あるいは実施された地区のレボートを収集し、以下の通り整理する。

- 当該支流域内における既存水資源開発及びそのかんがい排水地区(SSIPを含む)の 位置及びかんがい面積と境界などを5万分の1地形図にプロットし、その事業規模 をまとめる。
- 既存かんがい地区の河川流量、貯水容量、作付面積に基づく水利用量を把握する。 (SSIPについてはこの作業は不可能である。)この水利用はオーバーオール・ベー ズン・スタディの水収支の上で既存利用量として新規計画より除かねばならない。
- 既存レポートより単位面積当たりの作物かんがい用水量並びに地区内の単位面積当 たりの排水量を参考資料として把握する。
- 既存レポートより幹支線かんがい排水路及び末端施設工事費を単位面積当たり算定し、オーバーオール・ベーズン・スタディの受益地区工事費概定の参考資料とする。

#### 3.4.2 現地踏査

## (1) 既存かんがい地区踏査

当該支流域内の主要かんがい地区を踏査し、3.4.1 で得た資料を補足する。

- 貯水池、ダム施設の諸元並びに利用状況
- ー 頭首工、かんがい排水路施設の諸元並びに利用状況
- 末端施設における農民の水利用状況
- SSIPの位置並びに概略事業内容(貯水量、かんがい面積のみ)

## (2) MSIP特に SMSIPの候補地区踏査

現地踏査によって確認された建設可能性がある貯水池サイトの下流かんがい受益地域に対し、以下の点より現地踏査を行う。5万分の1地形図及び航空写真がベースとなる。

- 水田地帯の降雨湛水による水利用。
- 渓流取水などによりかんがいされている地帯の水利用。
- 雨期の洪水、湛水被害状況。
- 貯水池より供給されるかんがい用水の水路路線、頭首工位置などの概略選定。
- 末端におけるかんがい方法の現況と改良点の把握。

## 3.4.3 既存かんがい地区の資料とりまとめ

各地区ごとに、主要構造物(ダム又は頭首工)の種類、取水河川名、位置(5万分の1地形図の座標)、取水施設の流域面積、かんがい面積等の必要な事項を LSIP、MSIP、SSIPに分類して一覧表にとりまとめる。更に、これらのデータに基づいて様式-3-2~3-7 に示す"かんがい地区の開発状況"が作成される。この表は F/Sにおけるオーバーオール・ベーズン・スタディで作成されたものである。この表によって、支流域の開発

状況の比較が出来、SMSIP 地区開発の重要な指針となる。

#### 3.4.4 ダム下流受益地区の予備計画

## (1) 目的別水需要

東北タイのSMSIP 受益地区に対する水供給は、出来るだけ多くの部落に対して、以下の目的をもってなされる。

- i) 雨期水稲作安定のために必要なかんがい補給用水を供給すること。
- ii) 関係部落農民の生活及び所得向上のために、水田を利用して栽培される乾期作物への水供給並びに部落公共水利用施設(部落ボンド、養魚施設、飲雑用水施設)への水を供給すること。

F/S の結果に基づく3地区の水需要量を目的別に区分すると次の通りである。

	<u>Lam P</u> ( MCM )	lai Mat (%)	Nong Lu ( MCM )		Huai ( MCM )		-
雨期水稲	46.8	85.9	1.54	80.2	3.60	87.4	•
雨期苗代	3.1	5.7	0.12	6.2	0.15	3.6	
乾期畑作	3.2	5.9	0.13	6.8	0.20	4.9	
飲雑用水	1.4	2.5	0.13	6.8	0.17	4.1	
合計	54.4	100	1.92	100	4.12	100.0	

雨期水稲作補給かんがい用水が全水需要量の 90 傷を占めている。東北タイ南部において、優先順位が高くて緊急に実施が要請される SMSIP地区は凡そこのような水需要のパターンであろうと考えられる。

# (2) 作物消費水量

作物消費水量は、一般に、修正ペンマン法によって算定されている。F/S 調査では Nakhon Ratchasima の次の月別気象資料をベースとして、蒸発散量を計算した。

平均気温 (℃)	1951	) <del></del>	80
平均相対湿度 (%)	1951	-	80
平均最大相対湿度(%)	1951	. <b></b>	80
平均風速 (ノット)	1975	-	82
日中平均風速(ノット)	1975		82
夜間平均風速(ノット)	1975	-,	82
平均雲量 (0-8 オクタス)	1951		80

この数値に作物係数を乗じて作物消費水量を算定した月別量は、次の通りである。

					( mm )				•				
月	1	2	_3_	4	_5_	_6_	7	_8_	_9_	_10	_11_	12	
蒸発散量	118	123	164	159	140	126	124	115	102	121	117	115	1,524
水稲(非感光性)						5.7	139.0	150.6	165.8	197.5	120.5	13.9	793.4
水稲(感光性)	•					36.6	144.8	152.8	168.1	199.6	165.5	55.8	923.2
乾期畑作	67.3	80.6	84.5	8.7		(野菜で作	(表)					59.1	300.2
水稲 (苗代)			*		5.0	127.5	280.7	168.3	18.0		:	•	599.5

#### (3) 有効雨量

有効雨量は水田、畑の作物消費量、圃場の形態並びに作物生育期間の降雨量及び降雨強度によって異なる。F/S では以下の水収支によって有効雨量、圃場用水量を推定した。

$$V = V + R - VR$$
  
Dn Dn-1 n

ここで :n日末の圃場内水位

Dn

W : n-1日末の圃場内水位

Dn-1

R. :n日における降雨量

₩R :n日における総圃場用水量

## i) 水田の場合

最大湛水位 最大湛水深は 135㎜ を超えない。

(+135mm) 余剰水は排除される。

湛水深が 45mm 以下になると 90mm の湛水深と なるよう、かんがいが行われる。 常時湛水位 (+ 90mm)

最小湛水位 この水位以下の場合、かんがいが行われる。 (+45mm)

## ii) 畑作の場合

最大地下水位 地表 (0 mm)

常時地下水位 地下水位が-60mmに達すると、常時地下水位と

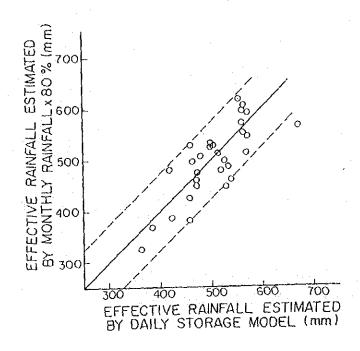
( -15 mm ) なるよう、かんがいが行われる。

最小地下水位 この地下水位以下になるとかんがいが行われる。

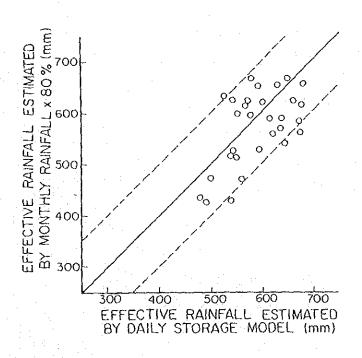
( -60 mm )

F/S の日単位の水収支結果に基づく有効雨量と月別降雨量の 80 你を有効雨量と推定 した価の関係は次の通りで、良い相関関係を持つ。従って、月雨量の 80 富有効雨量と 推定して、かんがい計画に利用しても差し支えないと思われる。

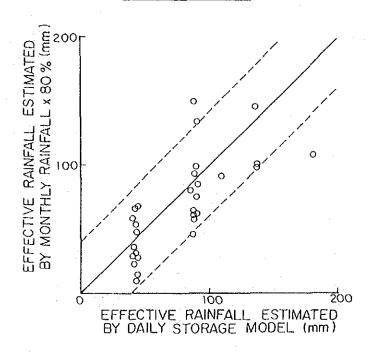
# UPPER LAND RICE



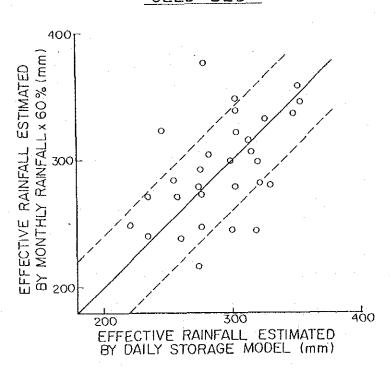
# LOWER LAND RICE



# VEGETABLE



# SEED BED



## (4) かんがい効率

F/S において採用されたかんがい効率は次の通りである。

圃場適用効率 (Ea):

水稲作

85%

畑 作

85% (バケツ・かんがいを規定)

圃場水路効率 (Eb): 85%

搬送効率 (Ec):

蓰 鰩

85%

非舗装

70%

総合効率 (Ea·Eb·Ec):

水稲作

58%

畑作

58%

# (5) かんがい面積と貯水池有効容量との関係

かんがい面積と有効貯水量との関係を F/S結果に基づき検討した結果は、次の通り である。

	<u>Lam Plai Mat</u>	Nong Lum Puk	<u>Huai Phlu</u>
流域面積 (km²)	485	25	21
平均年面積雨量(mm)	1,065	1,065	1,312
平均年流入量 (mm)	160	175	219
— 소 — (MCM)	77.4	4.4	4.6
(A)かんがい面積(Ha)	9,100	300	700
(B) 貯水池有効容量 (MCM)	90.0	4.2	6.1
A/B (Ha/MCM)	101	75	117
B/A (MCM/Ha)	0.010	0.014	0.009

この表から、かんがい面積(Ha)の 0.009~0.014 倍が貯水池有効容量(MCM )であり、又、逆に貯水池有効容量(MCM )の 91 ~ 117倍がかんがい面積(Ha)となる。流域面積雨量の違いがA/B 又は B/Aの値を変化させているようである。SMSIPで流域面積雨量が年間 1,000ミリの場合、A/B は90、又、年間 1,300ミリの場合、A/B は 100程度と推定される。

#### (6) ダム下流受益地域の概定

SMSIP 地区の一般的傾向として、ダム下流の河川両岸に既存水田が展開しており、又、その面積は貯水池規模に比べて著しく大きい。F/S の結果から、ダム下流の受益地域は、貯水池流入量から求められる貯水池有効容量によって概定できることが判明した。その受益面積に相当する地域を5万分の1地形図及び航空写真の利用、更に、幹線用水路の位置を検討して概定することができる。受益範囲を概定する場合、ダムのはるか下流に頭首工を設けるケースは歓迎されない。タイ国では水利権の認識がなく、常に上流優先権が慣習となっている。従って、ダムと頭首工の間で盗水されることになる。SMSIP は受益面積の規模が小さいので、その範囲は原則としてダム直下流の既存水田地帯とし、ダムから直接水路を出発させることが望ましい。

#### (7) 受益地域の工事費概算

受益地域の工事費は、水路建設費とその末端かんがい施設費及び部落公共的水利用施設(部落ボンド、養魚施設、飲雑用水施設等)の建設費の合計である。一般的にみて、これらの工事費は単位面積当たりの工事費で算定することにより、必要な精度が得られるものである。F/S の結果に基づく受益面積当たりの建設工事費は下表の通りである。

Lam Plai Mat 268,900,0001-7 ÷ 910 Ha = 29,100 11-7/Ha

Nong Lum Puk 9,510,000/1-7 ÷ 300 Ha = 31,700 /1-7/Ha

Huai Phlu 21,320,0001-7 ÷ 700 Ha = 30,500 11-7/Ha

この工事費には、20~30 公までをカバーする幹支線水路、農民組織で実施される末端かんがい施設、部落公共的水利用施設が含まれる。 公当たり約 30,000 バーツが平均単価として考慮されよう。

## 3.5 社会・経済及び農業調査

#### 3.5.1 資料の収集

対象支流域における以下の資料を関係する郡(Amphoe)、町村(Tambon)別に収集する。

#### (1) 行政区分

サブベーズンの流域境界と Amphoe、Tambon の境界は一般に一致しないので、その重複関係を明らかにする。なお、行政区分は分割変更されることがあるので、国家統計庁 (National Statistic Office ) 及び関係県 (Changwat) にて確認する必要がある。

Amphoeの行政界はサブベーズン流域界図(10万分の1地図)に画かれて、サブベースンと郡との境界関係を明らかにされる。そして、各サブベーズンごとに関係郡の面積を測定する。更に、利用可能な統計資料等との関連性、整合性を把握する。

#### (2) 人口、世帯数

Amphoe、Tambon別に関係部落(Muban )の数、全人口とその世帯数、農家人口とその世帯数の現況とその推移を明らかにするための資料を、国家統計庁、あるいは関係 Changwatにて収集する。

#### (3) 土壌と土地利用

農業・協同組合省の土地開発局(Dept. of Land Development - DOLD )作成の10万分の1土壌図が利用可能である。これは、事業を行わない状態での農業用土地資源

評価を示しているので、かんがい対象地区の農業生産性判定のための基礎資料となる。 一般的に、東北タイ南部では流域上流部において急激な森林開墾が進んでキャッサ バ耕作に転換されているので、これら土地利用の時系列的変化に留意する必要がある。 また、5万分の1地形図に示されている土地利用は極めてラフであるので、最新の航 空写真(2万分の1程度)の利用が有効であり、その入手に努める。

#### (4) 農業生産

農業普及局(Dept. of Agricultural Extension — DOAE)の Amphoe Officeにて、関係 Amphoe 内の田畑面積と主要作物の作付と収穫面積及び単位収量に関する資料を入手する。一方、農業経済局(Office of Agricultural Economics — OAE)にて Changwatレベルの資料を入手し、比較検証用に供する。これらの資料は最近5ヶ年位を必要とする。

#### 3.5.2 現地踏查

#### (1) 土壌及び現況土地利用

収集資料のチェックを代表点について行い、未調査土壌がある場合には現地調査に て概定する。

#### (2) Muban の社会調査

各サブベーズンごとに、代表的 Mubanを 1 個づつ選び、1 日位の日程で村長その他部落民とインタビューする。聞き取り項目は、部落の歴史、親族関係から社会、経済及び農業に関する事項を含め、家畜、漁業等に至り、各部落がもつ問題点、困難性、開発の必要性を把握する。聞き取り項目は、特に定めることが出来ないが、上記を包括的に含み、必要に応じてその細部に入るべきで、後に行われる SMSIP地区の選定に際しての留意事項及び農家経済調査の手法確立のための情報を得る。

## 3.5.3 資料の整理、分析

収集資料をサブベーズン単位にとりまとめるが、その流域境界と Amphoe 境界が一致 しないので、面積比例方式で処理する。この結果を次の4表にまとめる。

- 第1表:土地利用と人口(様式-3-8参照)

全面積;水田、畑その他の面積;入口、入口密度と入口成長率;農家戸数と人口;農家1戸当たりの平均経営面積;農業人口率;その他必要なサブベーズン 比較指標

- 第2表:土地利用の経年変化(様式-3-9 参照)

全面積;ある年次の水田、畑、その他の面積;近年次の水田、畑、その他の面積;土地利用の経年変化率

- 第3表:土地利用と土壌分級との関係(様式-3-10参照)

水田の土壌分級 (5段階) 別面積と現況土地利用(水田、畑、その他) 別面積、 そして両者の比較、特に水田適応土壌と現況水田との関係からサブベーズン面 積との比較

- 第4表: 雨期水稲の生産性(様式-3-11参照)

各サブベーズンごとに、水田面積、農家数、作付率、収穫率、単収、そして水 稲生産性指数とその他必要なサブベーズン比較指標

サブベーズンごとの農家所得の比較は、重要な検討項目であるが、水田をメインとしている農家の所得は雨期水稲生産性と著しい相関があるので、第4表から類推できる。そして、第1表の農家1戸当たりの水田、畑の平均経営面積を勘案する。上記の4表と3.4.3 で述べられた表"かんがい地区の開発状況"の慎重な分析と解釈、判断からサブベーズンに注目し、既存のかんがい地区と SMSIPの候補地区との関連において、優先的に開発が進められるべき SMSIP地区の明確化を議論する。この場合、SSIPとの関連性と整合性に留意しておく。この結果、SMSIP の候補地区の第二次選抜が受益性の観点から行われる。

#### 3.6 候補地区の事業費概算

オーバーオール・ベーズン・スタディでは 20 ~ 30 のサブプロジェクトの事業費の 概算を把握するため、以下の簡略化した方法が導入されよう。事業費の概算は第4次選 抜の目的に利用されるので、この簡略化で差し支えないと思われる。

#### 3.6.1 工事費

## (1) ダム工事費

前記 3.3.3(6)、(7)で述べた手法により、以下の式で算定する。 (築堤量×概算単価)+(洪水吐計画洪水量×概算単価) F/S 結果での概算単価は次の通りである。

- ダム基礎不透水性で、堀削量少なく、

グラウトを必要としないダム

90 バーツ/m³

- ダム基礎透水性で、堀削量大きく、

グラウトを必要とするダム

130 バーツ/m<sup>2</sup>

- 余水吐計画洪水量に対し、

60,000 バーツ/m³

#### (2) 水路工事費

前記 3.4.4 (7)で述べたように、以下の方法で算定する。

(受益面積×概算単価)

F/S 結果に基づく概算単価は、水路工事の他、末端かんがい施設、部落公共水利用施設工事費を含めて、30,000 バーツと見積もられる。

## 3.6.2 その他の経費

O&M機器費、用地補償費、事務経費、コンサルタント経費、調査工事費などの経 費は、工事費に対する率で算定される。 F/S結果では、この率は約 20 次である。

## 3.6.3 事業費

事業費には 10 你の予備費を考慮して、以下の方法で算定する。

(工事費× 1.2) × 1.1≒工事費× 1.30

F/S の結果に基づく3サブプロジェクトの受益面積弱当たり事業費は次の通りである。

事業名	事業費	画積	<u>面積当たり事</u>	業費
	(1,000バーツ)	( Ha )	(バーツ)	( U.S.\$ )
Lam Plai Mat	768,610	9,100	84,500	3,700
Nong Lum Puk	42,860	300	142,900	6,200
Huai Phlu	82,420	700	117,700	5,100

この概算事業費に基づき、第4次選抜が行われるが、上記の結果並びに東北タイ南部に予定される SMSIPの概算工事費(表-2-1)より考慮して、弱当り140,000 バーツ(33当り6,000米ドル)以上のサブブロジェクトは第4次選抜で除外されよう。

#### 3.6.4 事業費の年度割

SMSIP の事業費はパッケージで実施されるが、個々のサブプロジェクトは F/S完了後、以下の工程で実施され、工程に基づく事業費支出年度割は以下の通りである。

項目	1	年	-	2	年	3	年	4	年	5	年
ローン手続き		- Migray		10000			and the state of t		·		
コンサルタント選定		· ·									٠
実施設計、人札		,		-	-13)						
工事(堤高15~20g)					-						
工事(堤高15m 以下)					Marie Marie		-				
事業費支出率											
堤高 15 ~ 20m		5	%	15	%	40	) %	3	0 %	1	0 %
堤高 15m 以下		5	%	20	%	65	5 %	1	0 %		. — . •

註:請負工事の場合、10次の工事費が工事完了1年後に支払われる。

# 3.7 最優先地区の選定

## 3.7.1 経済的、社会的便益の概定

## (1) 資料の収集

3.6 の第4次選抜で残った SMSIP候補地区において、次の資料を収集する。一般的にみて、SMSIP の一地区は凡そ 10 部落(Muban) 以内で構成され、複数の村(Tambon) が関係している。

- 地区関連の郡 (Amphoe) 事務所にて、関係するTambonとMuban の名称を得る。
- 農業普及局 (DOAE) にてTambonのレベルの農地種別面積、作物別作付・収穫面積、 そして国家統計庁 (NSO) にてTambonレベルの人口、戸数、家畜、機械、農民組織 等に関する資料を収集する。
- 農業経済局 (OAE ) にて、農業生産費の県 (Changwat) レベルの資料を収集する。

- Amphoeレベルの土地開発局 (DOLD) 事務所にて、貯水池内の水没に関係する土地 の登記状況を調べる。一方、RID 地方事務所で買収単価を聴取しておく。

# (2) Muban 社会経済調査

一地区当たり代表的な二部落を郡(Amphoe)事務所で選び、各 Muban(平均70戸) にて代表的な五農家を適宜選び、 i)雨期水稲の作付率、収穫率、単収と、ii)農外 所得推定に必要な農作業外の労働日数と得た賃金をインタビューで聞き出す。同時に、 各部落における一般的規況を把握するよう努力する。

#### (3) 資料の整理、分析

#### i) 私的経済

私的経済の観点からの便益は、SMSIP の事業実施による受益農家の所得増加という指標を使用して概定する方法が、単純で、より説得力があるものと考えられる。 農家所得は、貧困度と密接に関連した指標で、タイ政府部内でも政策的指標として 使用されているもので、事業の BHM型評価の側面を持っている。農家所得は、農業 所得(水田、キャッサバ等)と農業外所得よりなる。

現況の農家所得の概定に当たって、農業所得は収集資料の財務分析により類推可能であり、農外所得は、Nutian 社会経済調査で得た情報を整理、分析することにより概定できる。東北タイ南部における仕送り贈与所得が、一般に顕著ではないので、無視して差し支えない。概定された農業所得は、地区単位に平均値を出しておく。

事業実施後の農家所得は農業所得の増加という立場で試算可能であり、標本農家の財務分析を行って概定する。この作業は、後に記されている国民経済的便益概定のうち、事業を行う場合の純益額を財政的立場で試算することに関連する。従って、オーバーオール・ベーズン・スタディにおける作業としては復築すぎる性格をもち、かつ多くの仮定を導入しなければならないので、この概定作業を省くことにする。

現況の SMSIP地区別平均農家所得額のみを算定し、その大小のみを他の有意義な 所得指標と比較することになる。

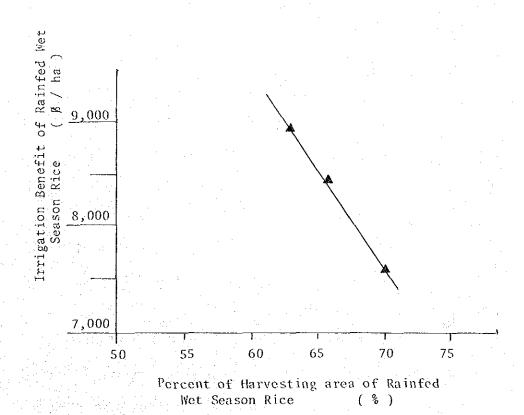
## 11) 国民経済的便益

収集資料を整理・分析して、事業なしの場合における純益額 (Net Production Value )と事業を行う場合の純益額を算定する。その差が国民経済的便益である。 算定に当たっては、次の点に留意する。

- 収集資料の整理・分析に当たっては各データ間のクロス・チェックを十分行って、より妥当性のある数値を使用するように努める。
- 農家庭先価格は、農業経済局(OAE)の Changwat レベルの調査資料による。 輸出作物である水稲は、輸出価格から算定された庭先価格とする。
- 生産費は、種子、肥料、農薬、家畜労働、人間労働、その他よりなる。人間労働については、当該地区の雇用状態を考慮して、シャドウ・ブライスを適用する。
- 事業なしの場合において、雨期水稲の作付率、収穫率に関連して、その生産費 の算定に留意する。
- 事業がある場合の作物の目標単収は、最寄りの試験場データをベースとして、 普及事業の成果を勘案しながら、農民にとって実現可能な数値を設定しておく。
- 乾期に導入するかんがい畑作は、"水田"及び"水田+畑作"の農家に就業機会と若干の現金収入の増加を与えようとするものである。F/S 調査結果によると、婦女子(妻と娘)で経営できる程度の規模で1戸当たり25イ(0.32%)が上限である。又、参加する農家数は、"水田"農家の60 際、"水田+畑作"農家の40 際程度と考えられる。導入作物は、物流を考慮して選定すべきであるが、東北タイ南部地域では、落花生、マング・ビーン、ベビー・コーン、ワケギ、チリ等が一般的である。F/S 調査結果からみて、雨期水稲計画面積の10 際程度の乾期かんがい畑作が導入可能となり、その作付は Mubanごとに1 が所の共同栽培プロック(土地の貸借による。)を設けて行う。
- かんがい施設計画範囲内の各 Mubanには、公共的水利用施設(Muban ボンドによる養魚、飲雑用水施設と非かんがい雨期水稲に対する共同苗代)が導入される。又、RID によって建設される貯水池内の養魚と水位低下時の貯水池空地における畑作等の便益も発生する。これらの便益算定は非常に複雑であって、オーバーオール・ベーズン・スタディにおいて導入することは得策でない。

	<u>Lam Plai Mat</u> Ha当たり % (バーツ)	Nong Lum Puk Ha当たり % (バーツ)	Huai Phlu Ha当たり % (バーツ)
(かんがい面積)	( 9,100 Ha )	( 300 Ha )	( 700 Ha )
雨期水稲かんがい	8,921 83.4	8,587 68.2	7,717 77.7
乾期畑作かんがい	1,436 13.4	1,583 12.6	913 9.2
その他	336 3.2	2,374 19.2	1,307 13.1
合 計	10,693 100	12,584 100	9,937 100
en e			

更に、雨期水稲かんがいによる便益は、現況の雨期天水稲の収穫率との間に次の 関係がある。



上記の検討の結果、次のことが考えられる。

- 国民経済的便益の概定に必要な上記の資料の整理、分析作業は多大の時間と労働を要するもので、オーバーオール・ベーズン・スタディの迅速化を阻害するものである。
- かんがい計画地域内の雨期天水稲の収穫率と雨期水稲かんがい便益との関係を 利用して、標記の概定作業の簡素化が可能である。
- SMSIP 地区の雨期水稲かんがい便益以外のその他便益は、上記の通り、27~37 なである。従って、雨期水稲かんがい便益の 1.36 ~ 1.58 倍が全国民経済的 便益となる。この増加率は、SMSIP 候補地区の社会的諸条件により決められる べきであるが、簡単な尺度がない。一律に 1.4の増加率を使ったとしても、後 刻の事業評価に大きな影響を与えることがないと予想される。
- この様にして国民経済的便益の概定作業は著しく簡素化されることになるが、 先に記した"資料の収集"を省くことは得策ではない。これらの資料の整理と 若干の分析によって、SMSIP 候補地区間の経済・社会的諸条件の比較を行うこ とが重要である。なお、雨期天水稲収穫率と雨期水稲かんがい便益との上記関 係は、今後の新しい地区データによってレビューされるべきである。

#### 3.7.2 地域・私経済的観点からの評価

(1) 東北タイ南部地域における SMSIPは、農村地域で所得が低く、特に後進農村地域 の貧困層に対して水をベースとした社会的サービスが絶対的に不足している地域を 対象としている。目的は地域格差の是正である。

まず、SMSIP 候補地区を現況の農民所得レベルの低い方から高い方に向かって並べることにより、ランク付けを行う。NESDB における次の資料との比較が有効である。

(2) 所得を扱う場合、受益者平均の所得レベルと受益者間の所得分布の2つの側面がある。この両者を一括して取り扱うデータ処置法がない。SMSIP 地区の優先度を、 貧困度に着目した所得面から取り扱うことができるものと考えられる次の指数を提案したい。

SMSIP 地区別貧困度指数 (Poverty Index )

F/S 調査結果によると、地区別貧困指数は次の通りとなる。

一人当たり年間平均所得	<u>Lam Plai Mat</u>	Nong Lum Puk	<u>Huai Phlu</u>	東北タイ _農村部
(バーツ)	3,580	8,320	4,450	4,630
平均世帯サイズ(人)	6.0	6.1	6.3	6.1
世帯当たりの年間平均所得 (バーツ)	21,470	50,760	28,060	28,860
貧困区分の世帯分布(%)	63	31	56	44
地区別貧困指数	0.83	0.17	0.56	0.44

SMSIP 地区の現在段階における採択基準として、東北タイ農村部における平均的 貧困指数 0.44 を下回らないということも考えられる。

(3) なお、参考までにF/S 調査地区の事業実施後における貧困指数は、物価レベルを 同一として、次の通りであった。

	Lam Plai Mat	Nong Lum Puk	<u>Huai Phlu</u>
一人当たり年間平均所得(バーツ)	5,470	9,170	5,410
平均世帯サイズ (人)	6.0	6.1	6.3
世帯当たりの年間平均所得(ハーツ)	32,830	55,940	34,110
貧困区分の世帯分布 (%)	20	27	40
地区別貧困指数	0.17	0.14	0.33

そして、F/S 地区の地域、私経済的観点からの事業評価は、次の貧困軽減率 (Poverty Index ) を導入しておこなうこともできるだろう。

# 貧困軽減率=現在の貧困指数-事業実施後の貧困指数

Lam Plai Matは 0.66, Nong Lum Puk は 0.03, Huai Phluは 0.12 となって、 Lam Plai Matの所得改善効果が著しいことがわかる。 (4) 3.7.1 で述べた様に、オーバーオール・ベーズン・スタディでは現況の所得レベルとその区分別世帯数(%)が概定されるので、現在の地区別貧困指数のみが算定される。この指数が高い程、優先度が高いと判断できる。しかし、この指数には、事業費という要因が入っていないことに留意すべきである。

## 3.7.3 国民経済的観点からの評価

- (1) この評価は、IRR 型評価と云われているものであって、SMSIP 地区の評価を国家 社会経済的開発行政立場から行おうとするもので、タイ政府の限られた財政の中で の公共投資の意志決定のために必要な指標であり、その時期の社会的割引率 (Social Rate of Discont)によって最低IRR 基準が定義される。
- (2) IRR の計算は、3.6 "候補地区の事業費概算"と3.7.1 における国民経済的便益額の両者を使用して行われる。

## i) コストの年次別ストリーム

初期投資額は年度割りに区分され、施設完成後の維持管理費(初期投資額の凡そ 1.5 %)を加える。又、必要な時期になされる機械の買いかえの経費も加えられる。初期投資額は、タイ政府側に必要な内貨(約 45 %)、国際資金援助機関よりの外貨(約 55 %)に分けられる。内貨で評価された事業費は、変換係数によって国境価格に修正される。標準変換係数は 0.92、資金財は 0.84 そして建設資材等については 0.88 が適用される。

F/S の中の Nong Lum Puk と Huai Phluプロジェクトでは、全財務費用を 100 なとすると、全経済費用は初期投資額の 77.5 なと、0 & M費用の 92 なである。 これらの数値は、SMSIP のクライテリアの1つとして考慮できるであろう。

## ii) 便益の年次別ストリーム

計画されている便益に到達する開発期間は、農民組織の結束度、政府関係機関の技術援助、雨期天水田水稲からかんがい水稲への転換、RID 貯水池における養魚等の多くの要因が絡んで、設定される。F/S 調査の SMSIP2地区では、計画便益

 年次
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10

 便益比率
 0.55
 0.76
 0.90
 0.95
 0.99
 0.99
 1.00
 1.00
 1.00
 1.00

なお、貯水池において水没する田、畑があり、かつ合法的耕作の場合には、そ の毎年の純益額を負の便益として計上しておく必要がある。

- iii) IRR の計算期間は、30年とする。
- (3) NESDB が現在RID の大規模・中規模かんがい事業に適用しているIRR は 12 際以上である。又、昨年6月に実施されたRID との地区選抜の打ち合わせに当たって、RID は10际以上を示唆した事実がある。一般的に考えて、SMSIP は規模こそ小さいがダムを持ち、大きなダムの築堤量当たりのコストに比べて割高になることが反映されて、IRR は全般に小さくなり、12際以上となる地区は非常に限られてくるものと思われる。従って、10際以下の地区が大部分であって、高い率規制すれば実施に入りうる地区数は非常に少なくなる。

BHM 型事業として、東北タイ南部の貧困農村地域へある程度の面的広がりを持つ社会的サービス効果をもち、早期効果実現性をもつSMSIP は、タイ政府の公共投資の一般的基準から若干離れても差し支えないのではないかと思われる。最低 IRRを 8 協位にとってみることを提案したい。なおオーバーオール・ベーズン・スタディで最終スクリーニングで取り上げた候補地区 12 のうち、この 8 協以上の IRRをもつ地区は 7地区のみであった。

更に、タイ政府はパッケージ事業(複数の地区を含む。)のIRR に注目するという方針もあり、パッケージの IRRが 12 な以上とか 10 な以上とかという議論も必要であろう。

- 1. BHM 型プロジェクトの選定方法については、現在研究されている社会的内部 収益率 (Social Rate of Return ) が適当であると考えられるが、その具体化 となると、現段階では種々の制約条件があるために、この種の事業評価の主流 とはなっていない。
- 2. 上記の2つの指標の他に、タイ政府サイドでは行政的、民生安定の立場から の配慮を追加するだろう。関係 Changwat の意見とか東北タイ南部では現地を 熟知している第二軍団の意向が反映されるだろう。

第4章 バッケージ・プロジェクトのフィージビリティ・スタディ の基準/指針

## 4.1 F/S の基本方針

このフィージビリティ・スタディ(F/S という。)は、基本的には事業の技術的、社会的、経済的妥当性を明らかにするためのものであることには変わりはないが、特に SMSIP の場合には SSIP の延長線上にあることを前提として、合理化ないしは簡素化できる項目を極力見出して、期間短縮を計る必要がある。又、一方では、国際資金援助機関のアプレーザルに必要な項目は精査しておくべきである。更に、ローン締結後に実施設計という作業が続くことにも留意を要する。

以上の観点から、次の六つの基本方針を前提とする。

- (1) 貯水池、ダムの計画/設計を、通常のF/S レベルで行う。
- (2) かんがい施設は、1万分の1地形図を作成して受益面積を精査し、又、幹線用水路の F/Sレベルの計画/設計を行う。
- (3) その他の施設すなわち支線用水路、末端オン・ファーム施設、Muban 公共的水利 用施設の計画/設計は省略し、既往のコスト事例(かんがい Ha 当たり)から事業 費にのみ反映させる。
- (4) 農業、社会及び経済調査は特に実施しない。経済的社会的便益は、オーバーオール・ベーズン・スタディにおいて概定された数値を使用するが、特にかんがい受益 範囲が異なる場合には、その旨手直し作業を実施する。
- (5) 事業評価は、精査された事業費を上記の概定便益にて IRRを計算するに止める。
- (6) 国際資金援助機関のアプレーザルに提出可能な事業実施プログラム (Project l 気plementation Program) を作成する。

### 4.2 基礎資料のレビューと追加

#### 4.2.1 水文調查

オーバーオール・ベーズン・スタディの後、設置した水文観測資料をもとに既存資料のレビューを行う。これらの資料をもとに、サブ・ベーズン毎に流出モデルを作成し、20年間の流出量の推定を行う。流出解析モデルとして今回の F/Sでは、Lam Plai Matic ついては重相関モデルで、Nong Lum Puk及び Huai Phluについてはタンクモデルで行った。将来の SMSIPの F/Sでは RIDのコンビューターセンターで既にプログラムが整備されているタンクモデルが適当かと思われる。

洪水吐設計洪水量及び堆砂量については、オーバーオール・ベーズン・スタディで得られた値を用いるものとし、特に精度をあげるための検討は行わない。

#### 4.2.2 土壌調査と土地利用・分級図の作成

土壌に問題のあるサブプロジェクト地区では土壌調査を行い、オーバーオール・ベー ズンのスタディ結果をレビューする。土壌調査のためのテストピットあるいはオーガー ボーリングは 50 郊に一点を基準とする。

フィージビリティ・スタディでは、受益地区の1万分の1地形図が完成しているので、 これをベースとした現況土地利用、土地分級図、土地利用計画図を各サブプロジェクト ごとに作成する。

作物生産性の計画については、上記土地分級図に基づきレビューし、各サブブロジェクトごとの生産性を確定する。

# 4.2.3 調査工事

施設の予備設計のために以下の調査工事が F/S前に実施され、F/S の現地調査期間に 完了する。

#### (1) 測量

- ー ダムサイトの基準ベンチマーク設定
- ダムサイトの平面図、縮尺 2000 分の1作成
- 受益地区の航空写真による平面図、縮尺1万分の1

# (2) 地質調査

透水試験、貰入試験を含むコアーボーリングがダムサイト洪水吐サイトで以下により実施される。

	**		
	堤高 20 m 以下	堤高 20 m 以上	
i)堤長 500 m 以下 岩盤、不透水性堆積層 透水性堆積層	$rac{2}{4}$	4	
ii) 堤長 500 m 以上 岩盤、不透水性堆積層 透水性堆積層	3 5	5 7~8	

#### (3) 土取場調査

オーガーボーリング100 称グリッドに 1 本、深度 3.0 称テストピット250 称グリッドに 1 本、深度 5.0 称

# (4) 土質試験

堤高 20 欲以下のダムでは築堤量 10 万立方欲に1試料の物理試験のみである。試験項目は以下の通りである。

- 自然含水比
- 土粒子の比重、並びに粒土分析
- 液性限界、そ性限界、収縮限界
- 土の水溶性成分含有量
- 土の塩化物含有量

土質試験結果は統一分類法により分類する。

- 締め固め試験
- 透水試験
- 三軸試験

#### (5) 砂礫、材料試験

- 一 比重、吸水量
- 一 粒土分析

#### (6) 岩石試験

ボーリングコアあるいは原石山のサンプルに対して実施され、以下の試験を行う。

- 比重、吸水量試験
- 安定度試験
- 圧縮試験

# 4.3 貯水池水利用量計画

# 4,3.1 かんがい用水量

作物消費水量の推定は、修正ペンマン法により作物基礎蒸発散量(ETo)を求め、作物係数を乗じたものとして計算できる。かんがい必要水量は月降雨量の80 際を有効雨量とし、雨期水稲及び乾期畑作については月別に20 年間求める。地区外の雨期作水稲の苗代用水及び乾期における飲雑用水の必要量は、それぞれ、雨期作水稲及び乾期作畑作に対する一定率として表すものとする。

必要水量= $(1+\alpha)$ ・雨期作水稲必要水量+ $(1+\beta)$ ・乾期作畑作必要水量

ここで α:地区外苗代の雨期水稲に対する必要水量比率

β:飲雑用水の乾期水稲に対する必要水量比率

 $\alpha$ 、 $\beta$ の値は、今回の F/Sでの Huai Phluの値を参考として次のように採るのが妥当であろう。

 $\alpha = 5.6 = 6\%$ 

 $\beta = 93.3 \pm 100\%$ 

#### 4.3.2 貯水池容量の最適規模

東北タイ南部の SMSIPの水利用計画においては、一般的にかんがい面積と貯水池容量 の両者が未知数である。従って、試行錯誤によって最適規模を手探りで求めて行く方法 をとらざるを得ない。

#### (1) 貯水池水収支計算

第三章で述べられた i) 年平均流入量と貯水池有効容量の関係と ii)かんがい面積と貯水池有効容量の関係で得られる"貯水池有効容量"と"かんがい面積"がスタート・ラインとなる。

F/S 調査結果では、水需要に対して貯水池における水不足の率が 5~10版が最適規模である。

従って、貯水池の大きさを段階的に与えて、それぞれの貯水池の大きさごとにかんがい面積を変更する方法で、貯水池水収支計算を数多くのケースに対して行うべきである。

# 一段階的に与える差分

# (2) 最適規模の決定方法

水需要に対して貯水池における水不足の率を、今、貯水池水不足率と定義する。20年間の貯水池水収支計算から出てくる貯水池水不足率は、20年間の平均実際かんがい面積と密接な関係がある。

 $A.IA = (1 - WS) \times IA$ 

計画かんがい面積 ( IA )

貯水池水不足率 (WS)

平均かんがい面積 ( A.IA )

一方、ダムと水路のコストを各ケースにおいて考慮しなければならない。これを T.D.C.とする。平均実際かんがい面積 (A.IA) と T.D.C. の関係で最適規模が決定で きることになる。すなわち、T.D.C./A.IA がミニマムとなるケースが最適規模となる。

F/S 調査結果から、最適規模となる貯水池の大きさの近傍では、T.D.C./A.IA の数値は若干の相違を示すのみで、sensitive であるとは考えられない。従って、かんがい施設とかダム計画上の種々の拘束条件を勘案して各地区ごとに慎重な配慮が必要である。

# 4.3.3 ウォーターオペレーションズスタディ

前項において貯水池及びかんがい面積の最適規模が決定されるが、最適規模は水不足率が 5~10 你程度で決定される。実際の貯水池の管理では、計画全面積を作付けして生育途中で水不足をきたすことは避けなければならない。従って、水不足のおそれのある場合には、予めかんがい面積を減少させ、雨期水稲の全かんがい期間を通じて補給かんがいができるように計画する。

- (1) 6月より始まる水稲作に対する面積の決定は、3月初旬に行われるべきである。 かんがいすべきゾーンの決定、各 Mubanへの通知と同意を得るために3ケ月前に決 定が行われるべきである。
- (2) かんがい面積を減少させるか否かはできるだけ単純な要素で判断するのがよい。 ここでは、2月末の貯水量のみで判断する。
- (3) 面積を減少させる割合は渇水の程度にかかわらず一定値がよい。このことによって、渇水年におけるゾーンのローティションを予め設定することができる。一定値にすることによって、渇水年でも貯水池に余剰水を残す場合もあるが、経年貯留が可能であるから貯水を無効にすることは少ない。

F/S の3つのサブ・プロジェクトの制限水量及び面積の減少は次の通りである。

	Lam Plai Mat	Nong Lum Puk	<u>Huai Phlu</u>
(1) 有効貯水量 (MCM)	90	4.0	6.0
(2) 制限貯水量 (MCM)	25.9	1.7	1.9
(3) 比率 (2)/(1) (%)	28.8	42.5	31.7
(4) 制限面積率 (%)	80	75	65
			•

#### 4.4 ダムの F/S設計

ダムの F/S設計は調査工事結果、並びに地形図 1万分の1に基づき実施される。MSIP では普通の方法による F/Sがなされるが、SMSIP に属する堤高 20 粒 以下のダムでは以下の合理化した方法が採用されよう。

# 4.4.1 堤高 20 祢 以下のダム

# (1) 型式並びに標準断面

ダム型式は均一型アースダムとし、下流ゾーンに垂直、水平ドレーンを設ける。 ダムの斜面勾配は築堤材料の物理試験により、以下の価が採用される。

堤体材料	上流法	下流法
G.C. G.M	3.0	2.0
S.C. S.M	3.0	2.0
C.L. M.L	3.5	2.5
C.H. M.H	4.0	2.5

# (2) ダムの基礎

- 11) カットオフトレンチを堤体中央部に設け、基礎地盤のN値 15 未満、透水係数-3
   1 × 10 以上の堆積層は除去される。カットオフトレンチの巾は堤高 15 な以下に対し 6.0な、15~20なに対し 8.0な。

		•
	15 m 以下	<u>15 ∼ 20 m</u>
天端巾 ( m )	6.0	6.0
余裕高 ( m )	1.0	1.0+ 0.05 H
垂直ドレーン厚( m )	1.5	1.5
水平ドレーン厚( m )	1.0	1.0
リプラップ厚 (m)	0.5	0.5
	·	

v) 垂直ドレーンはダムセンターより下流 6.0 流、満水面より 4.0 流下げた位置に 設ける。垂直ドレーン材料は河川砂礫材料を使用するが、水平ドレーンは砕石 と河川礫の混合材とする。(東北タイでは河川砂礫材料入手困難で、単価が高 いため)

# (3) 洪水吐

洪水吐計画洪水量は 3.2.3 (2) "ダム洪水吐洪水量" に示される図に基づき、流域面積当たりの洪水量で算定する。設計洪水量は貯水池のサーチャージを考慮して決定するが、溢流水深 1.0~1.5 初の間で計画洪水量に対し、30な位のサーチャージ効果が可能であろう。洪水吐の溢流せきとしてシュートまたは側溝タイプで設計される。シュート、静水池は原則として岩盤に素掘り断面で設計する。ただし、堤高が 15 初以下で、洪水吐サイトが堤体より離れている場合は堆積層に素掘り断面で設計され、リップラップで保護される。

# (4) 取水設備

取水口は、貯水池低水位に対し若干低い位置と高い位置に設けられる。前者は渇水年で貯水が空になった場合、低水位以下の貯水も取水するためのものである。貯水池の堆砂がこの取水口に達する場合には閉そくされる。

底桶はスチールライナーで保護される円形断面とし、低水位で設計取水量が流下する断面を与える。底桶の末端には流量コントロール、減勢のための調節ゲートが設けられる。

# 4.4.2 堤高 20 祝以上のダム

提高 20 初以上のダムは、ダムサイトの地形、地質、築堤材料の条件により設計が異なり、基準化が困難である。指針としては以下のことが考えられる。

# (1) 型式並びに標準断面

ダム型式はセンターコアーゾーンタイプとする。標準断面は築堤材料の力学試験結果より決定する。

# (2) ダムの基礎

- i) 表土はぎ厚は 0.5~1.0 初とする。
- ii ) コアトレンチでは基礎地盤のN値 20 未満、透水係数 1×10 以上の堆積層 は除去される。カットオフトレンチの底巾は水深の 50 際以上とする。
- iii) カーテングラウトは 3列、3 祝間隔とし、深度は貯水深の2分の1~3分の 2とする。
- iv ) ダムのその他の諸元は以下により決定される。
  - 天端巾 8.0 标以上
  - 一 余裕高 貯水池波高より計算される
  - 垂直ドレーン コアゾーンに沿って設置、2.0 衍厚
  - 水平ドレーン 2.0 流
  - ー リップラップ厚 1.0 粒

#### (3) 洪水吐

計画洪水量、設計洪水量の考え方は堤高 20 初以下のダムと同様である。ただし、 溢流水深は設計洪水量、余水吐サイトの地形により変化し、基準は設けられない。 余水吐サイトの基礎地盤は岩盤とする。基礎地盤が堆積層の場合は、シュート、静水 池はコンクリート構造で設計される。

# (4) 取水施設

堤高 20 初以下と同様な考え方で設計するが、取水量が多くなり、底桶断面が大きくなるので、底桶は岩着させる。

# 4.4.3 工事数量

ダム工事費に大きな影響を与える工事数量は、堤体並びに余水吐堀削、築堤、余水吐コンクリート、グラウト、取水施設の底桶、調節ゲートで以下の点に留意して数量は把握される。

- (1) 堤体堀削、余水吐堀削は1万分の1地形図に基づき100祝間隔位の横断図を書いて算定する。この場合、堀削材料の築堤への流用が考えられるので、土砂、岩別に流用量を把握しておく。
- (2) コンクリート数量は予備設計図に基づき計算される。
- (3) 底桶、ゲートなどは延長、口径で計算してよい。

#### 4.5 水路の F/S設計

#### 4.5.1 幹線水路路線

幹線水路路線は1万分の1地形図に基づき、以下の点を考慮して水路路線が選定され、 受益面積の最終確定が各サブプロジェクトごとに実施される。

- (1) 受益地区はダム直下流より選定し、貯水量に応じて下流域への面積を増加する。 貯水池より距離のある受益地区の選定は、上流地域における盗水、並びに水路延長 の増加に伴う工事費増加により避けなければならない。
- (2) 受益地区は河川の両岸に細長く横たわっているので、水路は両岸に設定される。 水路路線は既存水田全域をカバーせず、10~20版の既存水田は残される。この10~ 20版の水田には雨期稲作の苗のみが供給されよう。
- (3) 水路は末端 25 紛までカバーするよう計画される。
- (1) 水路路線は既存の SSIP 貯水池も利用できるよう選定される。 SSIP 貯水池は調整池として利用される。また、水路は村落共同水利用施設に給水するため、その路線は部落に接近して計算される。

# 4.5.2 幹線水路設計

幹線水路の設計は RIDの基準に従ってなされるが、F/S の結果により以下の点に留意する。

- (1) 水路の設計流量は、3公当り毎秒1.3 にが東北タイ南部の場合妥当であろう。
- (2) 水路底由 0.5 行以上の水路はコンクリートライニングで設計され、ライニング厚は次の通りである。

流量	ライニング厚
0~2.5 咷	5.0 cm
2.5~5.0 咷	6.0 cm
5.0~15.0%	7.0 cm

- (3) 水路最大流速は、コンクリートライニングに対し、毎秒1.2 な、土水路に対し、 毎秒 0.8粒とする。
- (4) 維持管理用道路は原則として山側に設けられる。
- 4.5.3 支線水路、末端かんがい施設並びに部落公共水利用施設

これらは受益面積、弱当たりの事業費はほぼ同様で、F/S において設計する必要はない。実施設計で行えば充分である。

# 4.5.4 幹線水路工事数量

幹線水路は、各サブ・プロジェクトごとの水路路線により工事数量、特にアースワークの工事数量が異なるので、1万分の1地形図に基づき水路縦断図を作成して算定される。

#### 4.6 事業実施計画作成要領

SMSIP のバッケージプロジェクトは早期実施を目的とするため、国際資金援助機関へのローン申請は、F/S に基づきエンジニアサービスローンと建設工事ローンが一緒になされると思われる。(別々にした場合は建設着工時期が 1~2 年遅れる。)従って、事業費、事業実施計画、事業評価は国際資金援助機関のアプレイザルに満足すべき内容が必要である。

#### 4.6.1 事業費

F/S で積算される事業費は、国際資金援助機関へのローンのベースとなり、ローン締結後の変更が困難なので、慎重に検討する。しかしながら、10~15のサブプロジェクトの事業費を算定するので、以下のような合理化した方法がとられよう。

# (1) 工事工種単価

合理化する方法として、各サブプロジェクトに対し、共通する単価と、変動する単 価を予め算定し、夫々の単価に基づき、工事費を算定する。

共通単価は各サププロジェクトで施工法が同様で、単価に相違がないもので、以下 の工種が予定される。

- ダムのまき出し、転圧単価
- 水路の掘削、盛土単価
- ー ダムのグラウト単価
- 一 骨材を除くコンクリート単価、ただし、洪水吐、取水設備、 水路ライニングは別
- 水路構造の規模による単価
- 受益地区支線水路、末端かんがい施設などの受益面積単価

変動単価は主に施工法、運搬距離により異なるもので、以下のものが予定される。

- ダムの基礎堀削、洪水吐、取水設備の堀削
- ー ダムの築堤材料、採取運搬単価
- ダムの底桶の口径に応じた単価
- 各種ゲートの口径、断面に応じた単価
- コンクリート骨材単価

運搬距離 500気, 1,000 気, 2,000 気などに基づき基本工種単価を作成する。

工事は請負ベースで計画されるので、工種単価にオーバーヘッド 20 欲を考慮する。

また、工種単価は、外貨、内貨に区分される。

#### (2) 工事費

工事費は数量と工種単価より算定されるが、仮設、雑工事として、15~20次の費用が、ダム、水路の純工事費に加えられる。

#### (3) その他の費用

工事費に対するその他の費用として下記のものが算定される。

- O&M機器費用はパッケージプロジェクト全体で考慮し、機器リストを作成して、外貨で積算される。
- 用地補償費は貯水池内補償面積、水路補償面積に対し、1 元当り 2,000バーツ で算定される。
- 調査工事費は、実施設計に必要な測量、ボーリング、土取場調査、土質試験な どよりなり、工事費の約3次が計上される。
- 事務経費は工事費の 5次で算定される。
- コンサルタント経費は、実施設計、工事施工監督に対して人一月ベースで算定 される。F/S の結果では約 12 際で、外貨 80 際、内貨 20 際となる。
- 予備費は、工事費とその他経費の合計に対し、10次を計上する。

#### 4.6.2 事業実施計画

SMSIP の事業は、10~15のサブ・プロジェクトが3~5のグループに区分されて実施設計がなされ、グループごとに工事が進められよう。事業実施工程は図-4-1のように提案され、F/S 完了後7年で完了する予定とする。事業実施計画のタイ政府並びに国際資金援助機関への申請並びにアプレイザルのために事業実施の主体関係機関を明確にし、事業実施計画の詳細工程表、事業支出計画が作成される。

# 4.6.3 事業評価

事業評価は、一般の F/Sに従って 4.1で述べられた基準で算定される。

SMSIP
for
Schedule
Implementation
[dm]
4-1
Figure

	7th					<del></del>									-				∞
	6th				**************************************		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							)	24			∞	
	Sth													24			∞,		
	4th						∞ )			9			24				1		
* 1	3rd				ĭ	<b>∞</b>	<u> </u>		()				1						
	2nd		6 1/	. :	60									-					-
!	1st																		
	Description	1. Loan Procedures	2. Consultant Recruitment	3. Detail Design	Group 1 $\frac{2}{}$	Group 11 2/	Group III 2/	4. Tender for Construction	Group I	Group II	Group III	5. Construction of Major Work	Group 1	Group II	Group III	6. On-Farm/Muban Communal Facilities	Group I	Group II	Group III

Group I, II, and III consists of 3 to 5 sub-projects respectively. Numbers on the line show working period. Note 1/ 2/

様式

Configuration of Major River Courses in the Lam Plai Mat and Lam Chi Noi Basins

# (1) Mae Nam Mun

Location	Distance (km)	Cumulative Distance (km)	Elevation (EL-M)	River Slope	Drainage Area (sq.km)	Coordination 1:50,000 Map
Mae Nam Khong	0	. 0	( 98.4)			
Lam Don Noi	7.2	7.2				
lluai Tunglung	9.9	17.1		•		
Contour - 100	7.3	24.4	100.0			
Huai Kwang	10.3	34.7		1		
M11	6.7	41.4	(101,1)	.	115,687	
Lam Dom Yai	13.4	54.8		1/13,340	. *	
Lam Se	6.1	60,9				
M7	34.3	95.2	(104.6)		106,673	•
Lam Se Bai	18.2	113.4			ŕ	
Mae Nam Chi	10.7	124.1	(106.5)			*
Huai Phap	11.2	135.3				
Haui Khayung	6.2	141.5				
Contour - 110	56.3	177.8	110.0			· ·
Huai Samran	11.6	189.4	•	ſ		
M10	3.6	193.0	(110.7)			
NS	48.4	241.4	(113.0)		44,275	
Huai Thap Than	11.3	252.7		1/21,510		
Lam Sico	14.4	267.1		1		
M4	101.2	368.3	(118.9)		34,654	
Huai Rawi	19.2	387.5			•	
Contour - 120	5.4	392.9	120.0	-\-		-
Lam Chi Noi (B)	18.0	410.9	.(121.5)	ſ		UB397-908
M6	38.8	449.7	(124,7)	1/11,960	28,450	
M6A	23.3	473.0	(126.7)	. (	28,275	
Huai Takong	16.2	489.2				
Contour - 130	23.2	512,5	130.0			
M104	56.4	568,9	(133.2)	1	4 4	
Lam Thamen Chai	31.0	599.9	•			
Lam Plai Mat (A)	54.2	654,1	(138.3)	1/16,980	(-5,838)	TC583-000
Lam Nam Khen	25.2	679.3				

Development of The Irrigation Systems

In Total Paddy Field No. of Irrigable No. of Irrigable Area Area Projects Area Projects Area Projects Area Area Area Area Area Area Area Area		dul-bastii Afea		Large-Scale	Medium-Scale	-241c	Small-Scale	cale	Irrigat	Irrigable Area
Projects Area   Projects Area   Projects Area   Projects   Are full.   1985   develop.   1985   develop.   1985   develop.   1985   develop.   1985   develop.   1985   1985   develop.   1985   198		Paddy	NO OOF	Irrigable	) t	rrigable Area	0 CZ	Irri gab le	As of 1983	At full Development
(A) (Fail) (Fail) (Fail) (Fail) (Fail) (Fail) (Fail) (Fail) Upper Lam Plai Mat 1,901 55 247 15 0 0 1 2,500 2,500 Lam Sail Yong 1,904 54 55 105 55 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		Sq.km.					Scts	Area	rai %	tai
Upper Lam Ptai Mat       1,901       33       247       15       0       0       1       2,500       2,500         Lam Sai Yong       318       5       105       35       0		(A)		(rai)	1)				(B) B/A	/o .(o)
Upper Lam Plai Mat Basin       Upper Lam Plai Mat Digit Mat Din Digit Mat Digit Mat Digit Mat Digit Mat Digit Mat Digit Mat Dig										
Lam Sai Yong	il Mat Basin									
Lam Sai Yong 318 5 105 557 18 0 0 0 4 2,100 115,295 Lawer Lam Plai Rang Rong 1,984 54 557 18 0 0 4 2,100 115,295 Lower Lam Plai Nat 1,655 28 948 58 0 0 3 5,160 5,160 5,000 Lower Lam Chi Noi 8asin	1,901	247			. 1		11	5,866	8,366 5.4	8,366
Lam Nang Rong         1,984         34         357         18         0         4         2,100         115,295           Lower Lam Plai Mat         1,635         28         948         58         0         0         4         2,100         115,295           Chi Noi Basin         Total         5,838         100         1,657         28         0         0         8         7,760         118,955           Chi Noi Basin         Total         8         154         31         0         0         1         0         1,500           Huai Seo         451         8         154         31         0         0         1         0         1,500           Huai Labaek         890         17         465         52         0         0         0         0         0         0           Huai Saneng         697         14         342         49         0         0         2         50,800         50,800           Lower Lam Chi Noi         1,636         32         818         50         0         0         1         6,000         6,000		105		0	С		. 7	909	6.0 209	509
Chi Noi Basin         Total         5,838         100         1,657         28         0         0         3         5,160         3,160         3,160           Chi Noi Basin         Upper Lam Chi Noi         747         15         252         31         0         0         1         0         1,500           Huai Seo         451         8         154         31         0         0         1         0         2,900           Huai Lae Ngao         359         7         175         49         0         0         0         0         0         0           Huai Saneng         697         14         342         49         0 <td>1,984</td> <td>35.7</td> <td></td> <td>. 0</td> <td></td> <td></td> <td>41</td> <td>36,419</td> <td>38,519 17.3</td> <td>149,714 67.0</td>	1,984	35.7		. 0			41	36,419	38,519 17.3	149,714 67.0
Total: 5,838 100 1,657 28 0 0 8 7,760 118,955  Chi Noi Basin Upper Lam Chi Noi 747 15 252 31 0 0 1 0 1,500  Huai Eae Ngao 559 7 152 59 0 0 0 0 0 0 0  Huai Iabaek 890 17 465 52 0 0 0 0 0 0 0 0  Huai Saneng 697 14 542 49 0 0 2 50,800 50,800  Lower Lam Chi Noi 1,636 52 818 50 0 0 1 6,000	1,635	948		0			14	4 900	8,000 1.4	8,060
Chi Noi Basin         Upper Lam Chi Noi       747       15       252       31       0       1       0       1,500         Huai Seo       431       8       134       31       0       0       1       0       2,900         Huai Tae Ngao       539       7       152       59       0       0       0       0       0         Huai Tabaek       890       17       463       52       0       0       0       0       0       0         Huai Saneng       697       14       542       49       0       0       2       50,800       50,800         Lower Lam Chi Noi       1,636       52       818       50       0       0       1       6,000	5,838	1,657		ol .			89	47,790	55,550 5.4	166,745 16.1
1 Chi Noi Basin         Upper Lam Chi Noi       747       15       252       31       0       1       0       1,500         Huai Seo       431       8       134       31       0       0       1       0       2,900         Huai Tae Ngao       559       7       152       59       0 </td <td></td>										
Upper Lam Chi Noi         747         15         252         31         0         0         1         0         1,500           Huai Seo         451         8         134         31         0         0         1         0         2,900           Huai Tae Ngao         559         7         152         59         0	Noi Basin		÷			- 1 - 1				٠.
Huai Seo       451       8       154       31       0       0       1       0       2,900         Huai Dae Ngao       559       7       152       59       0		252		0		*	<b>7</b> 1	1,000	7,000 0.7	2,500
Huai Eae Ngao         557         7         152         59         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         0         2,600         2,600         2,600         2,600         1         0		1.34		0		:	7	6.270	6,270 7.5	9,170 10.9
Huai Tabaek         890         17         463         52         0				0	0		ŧЛ	1,130	1,130 1.4	1,130
Huai Tabaek     890     17     463     52     0     0     0     0     0     0     0       Huai Saneng     697     14     342     49     0     0     2     50,800     50,800       Lower Lam Chi Noi     1,636     32     818     50     0     0     1     6,000     6,000				; O	1 3		10	4,420	7,020 6.4	7,020
Huai Saneng 697 14 542 49 0 0 2 50,800 50,800 Lower Lam Chi Noi 1,636 52 818 50 0 0 1 6,000 6,000	068	46.3		<b>c</b> a.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		Ф	1,610	1,610 0.6	1,610
Lower Lam Chi Noi 1,636 32 818 50 0 0 1 6,000 6,000	269	342		0			93	2,490	53,290 24.9	53,290
	1,636	818	٠	. 0	1 6	·	23	7,975	13,973 2.7	13,973
2 007 100 5 208 AF 0 0 0 6 400 KF 800	T 007	2 206		c		400 63 800	ν <b>τ</b>	7 8 AC	84 795 F 9	88 693

Form-3-3

# Summary of the Existing RID Irrigation Projects

					Medium-Sc			1.0	Small-	2016	
<u>-</u>	Division	(Pro	of jects	No. of Projects	Total Drainage Area (sq.km)		hle Area At full Bevelop. (rai)	No. of Projects	Drainag Upstream MS Dams (sq.km)	e Area Downstream MS Dams (sq.km)	Irrigabl Area (rai)
L	am Plai Mat Basi	<u>n</u> (Tota	: 1 Area :	= 5,838 sq.	km, Paddy	Fleld =	1.657 sq.1	.m)			
	Upper Lam Plai	Mat	-	ı	(weir)	2,500	2,500	ù	. ~	55.5	5,866
٠.	Iluai Sai Yong		-	· _	•			2	-	\$.5	605
	Lam Nang Rong			4	632	2,100	(128,100) 113,295	41	40.0	42.1	36,419
i.	Lower Lâm Plai	Mat	-	3	33	3,160	3,160	14	-	89.0	4,900
	<u>Total</u>		-	<u>8</u>	665	7,760	118,955	68	40.0	<u>192. 1</u>	47,790
	* · · .			As o	F 1983		7,760 + 4	7,790 = 55	,550 rai or	8,888 ha	
	.0	÷		At F	ull Develop	pment 1	18,955 + 4	7,790 = 16	6,745 rai o	r 26,679 ha	
Ī	am Chi Noi Basir,	ı (Total	Area =			•			6,745 rai o	r 26,679 ha	
	am Chi Noi Basir Upper Lum Chi N		Area =			•			6,745 rai o	r 26,679 ha	1,000
١.			Arca =	5,097 sq.1	km, Paddy	•	2,296 sq.	km)	6,745 rai o		1,090
٠. ٤.	Upper Lam Chi N		Area =	5,097 sq.	km, Paddy 13	•	2,296 sq.	km) 2	6,745 rai o	17.0	6,270
<u>I</u> I.	Upper Lam Chi M		Area =	5,097 sq.	km, Paddy 13	•	2,296 sq.	2 7	6,745 rai o - - - 77.0	61.0	1,000 6,270 1,130 4,420
٠. ٤.	Upper Lam Chi M Huai Seo Huai Lae Ngao		Area =	5,097 sq;	13 28	Field =	2,296 sq. 1,500 2,900	2 7 3	-	61.0	6,270
3. 3.	Upper Lam Chi M Huai Seo Huai Lae Ngao Huai Khon		Area =	5,097 sq;	13 28	Field =	2,296 sq. 1,500 2,900	2 7 3	-	61.0 55.0 30.5	6,270 1,130 4,420 1,610
A. B. D.	Upper Lam Chi M Huai Seo Huai Lae Ngao Huai Khon Huai Taback	<b>∖oi</b>	Area =	5,097 sq:	km, Paddy 13 28 31	Field =	2,296 sq. 1,500 2,900 2,600	2 7 3 10 6	77.0	61.0 55.0 30.5	6,270 1,130 4,420
). 3.	Upper Lam Chi M Huai Seo Huai Lae Ngao Huai Khon Huai Tabaek Huai Saneng	<b>∖oi</b>	Area =	5,097 sq.	km, Paddy 13 28 31	Field = 2,600	2,296 sq. 1,500 2,900 2,600 50,800 6,000 63,800	2 7 3 10 6 10 23 61	77.0	17.0 61.0 55.0 30.5 42.5	6,270 1,130 4,420 1,610 2,490

# Inventory of the Medium-Scale Irrigation Projects

- Existing and Proposed for Subsequent Study 1/ in the Two sub-Basins. Lam Plai Mat and Lam Chi Noi -

	Sub-Projects		Orainago Area	Arca Arca	Remarks
1	Lam Plai Mat Sub-Basin		(sq.km)	(rai)	
	A. Existing Projects (	<b>₹</b> 1			
,		(Upper Lam Plai Mat)	34	2,500	<ol> <li>Irrigation facilities not complete.</li> <li>Water shortage.</li> </ol>
	Huai Hin Weir     Khlong Manao Tank	(Lam Nang Rong)	69	8,000	1. Dam completed in 1980.
		(Lam Nang Rong)	15	2,100	<ol><li>Irrigation facilities not complete Completed.</li></ol>
	3. Nong Thalok Tank 4. Lam Nung Rong	(Lam Nang Rong)	450	100,000	1. Dam completed in 1983.
		(Lam Nang Rong)	100	18,000	2. No irrigation facilities.  Dam completed in 1985.
		(Lower Lam Plui Mat)	4	810	Completed.
		•	6	1,050	Completed.
	7. Huai Yai Tank	(Lower Lam Plai Mat)	25	1,500	Completed.
	8. Huai Khinu Tank	(Lower Lam Plai Mat)	699	133,760	Completed.
	Sub-total		099	7.55,760	
	n natara na ha	or Selection fo the Firs	* Daisaity Da		
,	•			ckuge (o	,
	P-1. Lam Plai Mat	(Upper Lam Plai Mat)	485		
	P-2, Huai Phriak	(Upper Lam Plai Mat)	112		
	P-3. Huai Nin	(Upper Lam Plai Mat)	51	•	
	P-4 Huai Toei	(Upper Lam Plai Mat)	37		
	P-S, Nong itum Puk	(Upper Lam Plai Mat)	25		
	P-6. Huai Sadao	(Upper Lam Plai Mat)	32		
	P-7. Nong Wah	(Upper Lam Plai Mat)	23		
	P-8, Lam Changhan	(Lam Nang Rong)	. 156		
	Sub-total		901		
į	Lam Chi Noi Sub-Basin				
ř	A. Existing Projects (	5)			
	1. Suwannapha Tank	(Lower Lam Chi Noi)	31	2,600	Completed.
	2. Huai Sawai Tank	(Lower Lam Chi Noi)	16	6,000	Completed.
	3. Am Pun Tank	(Iluai Saneng)	(211)	4,600	Completed.
	4. Huai Saneng Tank	(Huai Saneng)	640	-16,200	Completed.
	5. Huai Ta Kao	(Upper Lam Chi Noi)	13	1,500	1. Dum completed in 1982. 2. No irrigation facilities.
	6. Huai Mekha	(Law Seo)	28	2,900	1. Dam completed in 1982.
	Sub-total		728	63,800	2. No irrigation facilities.
	TETTETTE.			11/	
1	B. Projects Proposed for	or Selection of the Firs	t Priority Pa	ckage — (4	
	C-1. Ban Kramang	(Lower Lam Chi Noi)	2,764		
	C-2. Upper Huai Siew	(Lam Seo)	(45)		•
	C-3. Huai Phlu	(Lam Seo)	(22)		•
	C-4. Iluai Kra Ban Rien	y(Upper Lam Chi Noi)	(36)		
	Sub-total		2,764		

Note: 1. Total area of the Sub-basin : Lam Plai Mat ... 5,858 sq.km Lam Chi Noi ... 5,097 sq.km ... 10,935 sq.km

<sup>2.</sup> See the subsequent sheets for detail.

<sup>1...</sup> To identify the first priority package.

II/.... After the second screening in the Study A.

Form-3~5

# Existing and Proposed Irrigable Area by Projects - Lam Plai Mat Sub-Basin -

			Source Work				
<u> </u>		Category	River at Bamsite	Coordinates in 1:50,000 Maps	Drainage Area (sq.km)	lrrigable Area (rai)	Remarks
	A: Existing Proje					(,	
<u>A.1</u> .	Upper Lam Plai Ma						
1.	thost His Weir	Weir	Ausi Min ( Lam Plai Mat)	Neir TA 200-878	(34.0) No data	2,500	Weir and left wain canal constructed. Right wair canal under construction
<u>A.2</u> .	Lan Nang Rong						
2.	Khlong Manao Tank	Dan & Weir	Khlong Manao { - Lam Nang Rong}	Dam TA 576-816	69,0	8,000	Daw completed in 1980. Storage capacity: 2.6 M Irrigation facilities under construction.
3.	Nang Thalok Tank	Dam & Weir	? { Las Nang Rong)	Dam TB 620-230	13.2	2,100	Completed. Including water supply for Amphoe Nang Rong (Town).
4.	Lan Nung Rong	Dam & Weir	Lam Nang Rong	Dam TA 595-816	450.U	100,000	Storage capacity: 2.8 Me Dam constructed in 1983 Storage capacity: 150.0
							MCM. No detailed plan of irrigation facilities
5.	Lam Pathia	Dam & Weir	Lam Pathia ( Lam Nang Rong)	Dam TA 782-845	100.0	18,000	Dam construction to be completed in 1985. Sto- rage capacity: 25.4 MCM. No detailed plan of
	Sub-total ·						irrigation facilities.
A 7					632.2	128,100	
A.3	Lover Lam Plai Ma		and the state of t				
٠.	fluai Noi Tank	Dam	Ruai Takhop ( Buai Yai Lam Plai Mat)	TB 682-675	3.8	810	Completed in 1953.
7.	Huai Yai Tank	Dam	Huai Yai ( Lam Piai Mat)	TB 683-695	5.5	1,050	Completed Lam Plai M in 1957. (Town.
8.	Huai Khinu Tank	Dam	? ( Lam Plai Mat)	TB 686-615	22.6	1,300	Completed in 1961.
	Substotal				31.9	3,160	
	Total (8 Projects	<u>)</u>			698.1	133,760	
roup	B: Proposed Proje	cts	•	•		(or 21,400 ha)	
B. 1	Upper Lam Plai Ma	<u>t</u>					
r-1	iam Plai Mut	Dam & Weir,	Lam Plai Mat	Раш ТА 237-827	185	54,375	275 km upstream of rive mouth.
P-2	fluai Phriak	Dam & Weir	Hoai Phriak ( - Lam Ptai Mat)	D <sub>int</sub> TA 181-821	112	8,438	Satellite for P-1 trrigation project.
-3	Hual Hin	Dan	Hoat Hin ' ( Lamp Ptai Mat) ·	Dam TA 191-878	31	1,250	Upstream of existing Huai Him Weir.
2-4	Ruai Toci	Dam	Huai Toei ( Huai Thon Huai Chai Kong Lam Plai Mat)	Don TA 353-870	37	2,063	Isolated.
P-5	Nong Lun Puk	Dam	Huai Nong Lompok ( Law Plai Mat)	TA 295-984	25	1,563	Satellite for P-1 irrigation project.
. 6	Huai Sadao	Dam	Huai Sadao ( Lam Plai Mat)	TA 331-986	32	1,875	Satellite for P-1 irrigation project.
7-7	Nong Wah	Dan	Huai Pong Sakae ( Lam Plui Mat)	TA 473-917	23	1,250	Satellite for P-1 irrigation project.
	Substatal		•	•	748	70,814	• •
1-2	Lam Nang Rong						
2-8	Lass Changhan	Dane	Lam Changhan -	TA 708-834	156	- 11,875	
	Total (8 Projects	1	Nam Nang Rong		904	82,689	

Form-3-6

Inventory of the Small-Scale Irrigation Program

- In the Two Sub-Basins, Lam Plai Mat and Lam Chi Noi,
as of 1983 Construction -

	No. of	Total	Total Irrigable	Divisi	on Area	Densi Proje		
NO. Division	Projects (A)	Drainage Area (sq.km)	Area (D) (rai)	Total (B) (sq.km)	Paddy Field (C) (rai)	(B)/(A)	(C)/(A)	(D)/(C)
_		(sq.xm)	(141)	(54.83)	(rar)			(3)
. Lam Plai Mat Sub-Basi	<u>n</u>							
. Upper Lam Plai Mat	11	55.5	5,866	1,901	154,375	173	14,034	3.8
Huai Sai Yong	2	5.5	605	318	65,625	159	32,813	0.9
. Lam Nang Rong	41	82.1	36,419	1,984	223,125	48	5,442	16.2
C.1 Lam Nang Rong	31	70.6	26,853					
C.2 Lam Changhan	3	10.5	610					
C.3 Lam Pathia	7	1.0	3,090					
. Lower Lam Plai Mat	14	89.0	4,900	1,635	592,500	116	42,321	0.8
Total	68	232.1	47,790	5,838	1,035,625	86	15,230	4.61
Lam Chi Noi Sub-Basin								
. Upper Lam Chi Noi	. 2	17.0	1,000	747	145,000	374	72,500	0.7
. Huai Seo	7	61.0	6,270	431	83,750	62	11,964	7.5
. Huai Lae Ngao	3	53.0	1,130	339	82,500	113	27,500	1.4
. Huai Khon	10	107.5	4,420	357	109,375	36	10,938	5.4
Huai Tahaek	6	42.5	1,610	890	289,375	148	48,229	0.6
Huai Saneng	10	49.0	2,490	697	213,750	70	21,375	1.0
Lower Lam Chi Noi	23	157.1	7,973	1,636	511,250	71	22,228	1.6
G.1 Upstream Railway	15	78.3	3,510	711		47		
G.2 Downstream Railwy	. 8	78.8	4,473	925		116		
<u> Total</u>	61	489.1	24,893	<u>S,097</u>	1,435,000	83	23,525	1.7
<u>Total</u>	<u>61</u>	489.1	24,893	5,097	1,435,000	83	23,525	

Note: See the subsequent sheets for detail.

Form-3-7

# Inventory of Existing Projects

No. Project	Coordinates in 1 : 50,000 Maps	Area	Capacity	Irrigable Area	Remarks
Lam Plai Mat Basin		(sq.km)	(MCM)	(rai)	
A. Upper Lam Plai Mat (to		n Nang Ron	<u>g)</u>		
M-S: P-1 proposed M-S: P-2 proposed	TA 237-827				Main river.
M-S: P-3 proposed	TA 181-821				Huai Phliak ( - Main)
Huai Hin Weir	TA 191-878 TA 200-878				Huai Hin ( - Main) Left main canal constructed under SSIP.
<ol> <li>Ban Nong Krathurn</li> </ol>	TA 224-891	(?)	Neir	Domestic	? ( - Plai Mat Main)
M-S: P-4 proposed	TA 353-870				Huai Toei ( - Huai Thon - Main)
M-S: P-5 proposed	TA: 295-984				Huai Nong Lumpuk ( - Main)
M-S: P-6 proposed	TA 531-986				Huai Sadao ( - Main)
2. Ban Nong Ta Back	TA 294-853	12.0	0.218	1,000	Huai Hin ( - Huai Chai Kong - Main
3. Ban Nong Sanuan	TA 366-968	3.2	0.096	500	Huai Saphan ( - Main)
4. Ban Khok Ma-Muang Wa	an . TA 434-943	(20)?	(0.209)	200	Main river, construciton in 1983.
M-S: P-7 proposed	TA 473-917		•		Huai Pong Sakae ( - Main) construction in 1983.
5. Ban Don Nang Ngam	TA 480-965	1.3	0,25	100	Huai Khok Nam ( - Main)
6. Ban Khok Mai Daeng	TA 514-880	6	0.,156	1,500	Lam Plai Mat Noi ( - Main)
7. Ban Khok Loi	TB 485-012	18	0.33	700	Huai Changko ( - Main)
8. Ban Chum Saeng	· TB 548-161	12	Weir	1,066	? (- Main)
Huai Sai Yong	TB 574-250				
9. Ban Na Chan	TB 527-342	(?)	Weir	800	Huai Luk ( - Main)
10. Ban Khok Prasat	TB 585-384	1.5	0.18	Domestic Trrigation	Huai Noi ( - Main)
11. Ban Ta Khro	TB 604-414	1.5	0.3825	?	Huai Noi ( - Main)
Lam Nang Rong	TB 713-415				
Total (11)		55.5	1.613	5,866	
D. Hani Cai Vara ( be and	61	Mai Wata		•	•
B. Huai Sai Yong ( to conf			0 1021	<b>1</b> 5 <b>1</b>	
1. Ban Dong Bang	TB 370-100	2.5	0.1074	Domestic	Huai Lung Kat ( - Muai Sai Yong)
2. Ban Khok Pak	TB 450-186	3.0	0.179	605	? ( - Huai Sai Yong)
Lam Plai Mat	TB 574-250		2254	4.05	
<u>Total</u>		<u>5.5</u>	0.2864	605	
C. I. Lam Nang Rong					
1. Ban Khlong Pong	TA 505-750	2.5	1.01	197	? ( - Nan Rong Main)
2. Ban Khlong Hin	TA 510-728	12	1.073	1,500	? ( - Main) Construction 1983.
3. Khlong Yang	TA 468-676	5.5	0.40	500	? ( - Iluai Lakoh Phinang - Main)
4. Ban Khok Phet	TA 487-694	12	0.216	100	Huai Lahox ( - Main) Construction 1983.
S, Ban Nang Rong	TA 503-680	(?)	(?)	600	? - (Huai Lakoh Phinang - Main)

LAND USE AND POPULATION

			,,,			1978 Land Use	nd Us	9			Total	Polulation	Farm P.	Farm Population	Per Hou	Per Household Land Use	and Use	
Su	Sub-8asin	Total		Paddy Field	Field	Upland	pu	Others	THE PE	1980 Total	1980 Density	1970-80 Growth Rate	1980 Total	1980 Household	Paddy Field	Upland	Total	B/A
		sq.km.	60	sq.km.	2,0	sa.km.	0/3	sq.km.	00	,000	per sq.km.	n. % per vear	000.	000.	На	Ha	Hä	
	aan a			1.	,					(A)		-	(8)					
, WA.	CAM PLAT MAT RASTA							٠.										
1	Upper Lam Plai Mar	1,901	(n) (n)	247	<del>1</del> 2	190	01	1,464	77	128	67	5.2	106	<u> </u>	1.5	1.1	.2.6	0.75
	Lam Sai Yong	318	w	105	33	16	Ŋ	197	62	::	24	1,5	52	≂†	2.6	0.4	3.0	0.81
יי	Lam Nang Rong	1,984	55	557	8	119	9	1,508	76	1 36	69	4.0	94	16	2.2	0.7	2.9	69.0
9	Lower Lam Plai Mat	1,635 28	61 61	876	58	278	7	409	Ω. - Ω:	216	1 52	2.1.	184	30	5.2	6.0	4.1	0.85
	TOTAL	5,838 100 1,657	100	1,657	82	503	의	5,578	62	511	88	5.2	409	19	2,5	6 0	5,4	08.0
		-												,				
LAN C	LAN CHI NOI BASIN		:							•								
1.0	Upper Lam Chi Noi	747	15	232	[5·	57	ហ	478	. 49	74	66	0.6	63	11	2.1	0.3	2.4	0.85
 H	Huai Seo	154	œ	131	31	30	1.	267	62	7	102	7.6	72	\$	2.2	0 5	2.7	0.84
	Huai Lae Ngao	339	i~	12	39	07	ın	197	80	55	103	5.7	30	ហ	2.6	0 5	2.8	0,86
±	Huai Khon	357		175	49	11	to	171	44 00	4 ()	120	3.0	57	9	6. 6.	0.3	ы Н	0.86
τ. .:	Huai Tabaek	390	17	463	52	18	Č1	409	. 9	110	123	4 Q.	88	1.5	о 1. п	0.1	5.2	08.0
, ,	Huai Sancog	. 269	14	342	04	15	ιŋ	534	. 4 80	20	136	4.0	73	13	2.6	0.2	2.8	0.77
7	Lower Lam Chi Noi	1,636 32	25	818	50	65	4	75.5	46	274	167	n A	179	29	2.8	0.2	3.0	0.62
	TOTAL	5.097 100 2,296	100	2,296	÷.	192	4	2,609	15	675	132	4.6	765	: SS	7.7	0,13	2.9	0,74
	•																	

DATA SOURCE : Amphoe Level Data

CHANGE OF LAND USE, 1963 - 1978

•	Total		19	63			19	78		1978-	1963
Sub-Basins	Area	Arable	Land	Other	`S	Arable	Land	Other	rs	Arable	
·	Sq.km.	Sq.km.	%	Sq.km.	%	Sq.kin.	%	Sq.km.	%	Land	Others
		(A)		(B)		(C)		(D)		(C/A)	(D/B)
LAM PLAI MAT BASIN											
l. Upper Lam Plai Mat	1,901	152	8	1,749	92	437	23	1,464	77	2.88	0.84
2. Lam Sai Yong	318	64	20	254	80	121	38	197	62	1.89	0.78
3. Lam Nang Rong	1,984	238	12	1,746	88	476	24	1,508	76	2.00	0.86
1. Lower Lam Plai Mat	1,635	687	42	948	58	1,226	75	409	25	1.78	0.43
TOTAL	5,838	1,141	<u>20</u>	4,697	80	2,260	39	3,578	61	1.98	0.76
LAM CHI NOI BASIN											
1. Upper Lam, Chi Noi	747	112	15	635	85	269	36	478	64	2.40	0.75
2. Iluai Seo	431	56	13	375	87	164	38	267	62	2.93	0.75
3. Huai Lae Ngao	339	58	17	281	83	142	42	197	58	2.45	0.70
1. Huai Khon	357	61	17	296	83	186	52	171	48	3.05	0.58
5. Huai Tabaek	890	267	30	623	70	481	54	409	46	1.80	0.66
6. Huai Saneng	697	202	29	495	71	363	52	334	48	1.79	0.67
7. Lower Lam Chi Noi	1,636	687	42	949	58	883	54	753	46	1.29	0.79
TOTAL	5,097	1,443	28	3,654	72	2,488	49	2,609	51	1.72	0.71

DATA SOURCE:

NOTES: Arable land = Paddy field and Upland.

<sup>1. &</sup>quot;Census of Agriculture, 1963", NSO, Office of the Prime Minister.

<sup>2. &</sup>quot;1978 Agricultural Census Report", NSO, Office of the Prime Minister.

RELATION OF THE 1978 LAND USE WITH THE SOIL SUITABILITY FOR PADDY FIELD (1)

				·	Soi	Soil Suitability for Paddy (Wetland) Rice	rilid.	y for F	addy	meilaew)	d) Ri	9 9			Sisi	1978 Land Use	ญ		
	Sub-8asin	Total Area	4400	Group	P-1	Group P	P-13	Group F	) 目-d	Group P	P-1V	ano	λ- d	Paddy Fi	ield 1	Ubland		Others	} {
		Sq. km.	99	Sq.km.	50	Sq. km.	ادو	Sq. km.	201	Sq.km	[ دن	Sq.km.	إدر	Sq.km.	60	Sq. km.	417	Sc. kg.	**\
Lam	Lam Plai Mat Basin		٠			•									-				
	Upper Lam Plai Mat	1,901	55 55	0	0	0	0	209	11	95	ייעו	1,597	\$4	1.77	io H	190	16	+000	1:
CI.	Lam Sai Yong	31.8	Ņ	0	0	<b>50</b>	e-t	13	₹:~	16	ស	\$72	86	105	10	9	10)	(** Ø( ;=(	t-4 -0
'n	Lam Nang Rong	1,984	ю ф	0	0	6/	**)	53.7	17	119	•	1,449	10	357	89	119	·o	1,508	10 11
্ব	4. Lower Lam Plai Mat	1,635	&0 C1	0	0.	91		736	45	82	Ŋ	301	و م	948	28	8772	I s	60 T	en n j
	Total	5,838	100	ol	ol	101	:6i]	1,304	132	512	ωĮ	4,121	7.1	1,057	85	603	3]	5,578	्र (क्रु
Lam	Lam Chi Noi Basin																		
, Li	Upper Lam Chi Noi	747	2	0	0	0	0	144	61	Ŋ	۲۰-	868	80	232	31	10	ιħ	(0) 17	10
ci	Huai Seo	451	∞ .	0	0	0	0	58	13	27	Ø	346	81	154	31	30	t's	1967	c) o
10	Huai Lae Ngao	92.0	r <u>~</u>	0	0	0	0	132	60	9	61	201	o S	133	39	10	19	t≤ 66 71	80
다	Huai Khon	557	t~	0	0	0	0	158	44	51 23	ð	177	49	175	<b>6</b>	=	iQ.	; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	<u> </u>
'n.	Huai Tabaek	890	17	0	0	0	0	419	₩.	67	1~	404	46	463	52	81	<b>~1</b>	607	· 0
<b>.</b>	Huai Saneng	697	14	0	0	0	0	442	64	12	C1	243	ທ	543	6) 1	12	t/3	55 55 4	82
۲,	Lower Lam Chi Noi	1,636	51	0	0	. 15	<b>C1</b>	1,055	89	13	~ <b>-</b> 1	537	22	818	20	65	4	1. 53.	0
	Total	2,097	100	ol	ા	31	-1	2,408	47	153	ioi	2,506	61	2,296	45	192	σł	2,609	51
														٠					

Data Source : DLD, Detailed Reconnaissance S11 Map (1/100,000), 1974-75.

Soils well suited for paddy land. Soils poorly suited for paddy land. Group P-II Group P-V Group P-[ .... Soils very well suited for paddy land. Group P-II .... Soils moderately suited for paddy land. Group V .... Soils generally not suited for paddy land.

RELATION OF THE 1978 LAND USE WITH THE SOIL SUITABILITY FOR PADDY FIELD (2)

			Soil St	i tabi li t	y of	Soil Suitability of 1978 Paddy Field	Field		Rainfall		
Sub-Basin	Total Area	1978 To Paddy F	Total Field	Soil Sui Group P	Suited fo p P-I to	for Paddy to P-IV	Average Group Index of 1978	Annual		Jun. to	to Oct.
	Sq.Km. %	Sq. Km. (A)	9.0	Sq.Km. (B)	0/0	B-A (Sq.Km.)	Paddy Field	E .	Ratio	. m	Ratio
Lam Plai Mat Basin			,								
. Upper Lam Plai Mat	1,901 100	247	13	304	16	+ 57	Group III. 2	1,151	0.97	812	0.94
2. Lam Sai Yong	318 100	105	13 13	44	14	- 61	Group IV. 2	1,162	0.98	841	0.97
<ol><li>Lam Nang Rong</li></ol>	1,984 100	357	18	535	27	+ 178	Group II. 7	1,240	1.04	928	1.07
4. Lower Lam Plai Mat	1,635 100	948	89 80	834	ij	- 114	Group III. 3	1,188	1.00	866	1.00
Total	5,838 100	1,657	82	1,717	53	09 +	Group III. 1	1,188	1.00	868	1.00
Lam Chi Noi Basin											
. Upper Lam Chi Noi	747 100	232	31	149	26	1 53	Group III. S	1,374	1.06	266	1.04
2. Huai Seo	431 100	134	31	85	19	- 49	Group IV. 0	1,417	1.09	1,035	1.08
5. Huai Lae Ngao	339 100	132	39	1 58	. [4	νο +	Group III. 0	1,138	0.88	877	0.91
4. Huai Khon	357 100	175	4 0	180	20	t)	Group II. 1	1,158	0.88	877	0.91
5. Huai Taback	890 100	463	25	486	∞ w	+ 23	Group III. 1	1,390	1.07	961	1.00
6. Huai Saneng	697 100	342	9	454	65	+ 112	Group III. 0	1,178	0.91	,106	0.94
7. Lower Lam Chin Noi	1,636 100	818	20	1,099	89	+ 281	Group III. 0	1,323	1.02	566	1.03
Total	5,097 100	2,296	45	2,591	딦	+ 295	Group III. 0	1,299	1.00	962	1.00

WET SEASON PADDY PRODUCTION

	1978		8 6 1	. 0		1981/82	¥e t	Season Padd	Paddy (dry	year)		7	08/6/61	- 1981/82	/82 Wet	Season	Paddy (3	(3 years-average	verage
Sub-Basins	Paddy Field	eld	Farm Household	isehold	Planted Area	1	Harvested Area	d Area	Yield		Productivity Index	1 .	Planted A	Area Ha	Harvested	area	Yield	Productivity Index	tivity ndex
	Ha	1	\$ 000	e 0	9,0	Ratio	gi 90	Ratio 1	Ton/Ha R	Ratio	A X B	Ratio	°° R	Ratio	60	Ratio %	Ratio	CXB	Ratio
LAM PLAI MAT BASTN	\ \ \ !						2 (A)		(B)										
1. Upper Lam Plai Mat 24,700 15	t 24,700	ış.	17	52	72.6	1.04	54.6	1.28	1.41	1.02	77	1.3 8	87.1 0	0.94	72.5	0.96 1.90	0 1.10	138	1,1
2. Lam Sai Yong	10,500	9	7	o	67.9	86.0	25.7	0.60	0.59	0.43	1.5	0.3 7	0.67	0.87	57.7	0.77 1.61	1 0.94	26	0.7
5. Lam Nang Rong	35,700	22	. 16	24	78.3	1.12	14.4	0.34	0.33	0.24	ıν	0.1.8	81.7 (	06.0	49.8	0.66 1.39	18.0.6	69	0.5
4. Lower Lam Plai Mat	£ 94,800 57	52	20	172.	65.4	0.94	52.3	1.22	1,53	1.10	08	1.4 9	96.5	1.06	87.7	1.16 1.82	2 1.06	160	1.2
TOTAL	165,700 100	100	67	001	5.69	1.00	42.7	1.00	1.38	1.00	83	1.0	90.8	1.00	75.3	1.00 1.72	1.00	130	1.0
LAM CHI NOI BASIN																			
1. Upper Lam Chi Noi	23,200, 10	10	11	13	70.5	06.0	51.6	0.77	1. 58	0.83	5	0.6 7	76.3 (	0.92	65.5	0.96 1.81	1 0.98	119	0.9
2. Huai Seo	13,400	9	v	1	\$0.5	0.64	19.5	0.39	0.77	0.46	13	0.1 6	67.2 (	0.81	51.9	0.76 1.61	1 0.87	84	0.7
<ol><li>Huai Lae Ngao</li></ol>	13,300	9	v	9	87.0	1.11	87.0	1.30	2.19	1.32	191	1.7 9	91.5	1.11	80.5	1.19 1.39	9 0.75	112	6.0
4. Huai Khon	17,500	60	ω	r-	78.7	1.01	78.7	1,17	2.19	1.32	172	1.5 9	91.9	1.11	72.6	1.07 1.44	14 0.79	105	0.8
5. Huai Taback	46,300	.20	13	18	67.5	0.86	33.3	0.53	1.30	0.78	46	0.4 6	65.0 (	0.79	48.8	0.72 2.17	7 1.17	230	8
6. Huai Saneng	34,200	13	13	15	82.9	1.06	82.6	1.23	2.19	1.32	181	1.6 9	91.5	1.11	80.1	1.18 1.63	3 0.88	131	1.0
7. Lower Lam Chi Noi	81,800	55	53	34	87.8	1.12	84.9	1.27	1.67	1.01	142	1.3 9	90.3	1.09	86.3	1.27 1.99	9 1.08	172	1.4
* * C. * * * * * * * * * * * * * * * * *	0	9		2	r C		- 1		77		-			5	(- (-			40	
TOTAL	00T 009 677		g	901	/8.3	1.00	77.0	00	00.1	20	<u>-</u>	⊇  ⊒	0.70			7.00	2	077	2

Yield data would below in reliability, and then it has been assumed that actual yield would be around 60 to 70 percent of the above mentioned. DATA SOURCE : Amphoe Level data prepared by DAE, Changwar Offices, based upon the [ = 50,000 topographical maps.

NOTES : (1) Planted area

(X) X (X) =

- When the planted area and harvested area are both 100 percent of the are of paddy field and the yield is taken at 1.6 ton per Ha that is the average of Thailand for wet season paddy, then the productivity index is 160. (2) Harvested area(5) Productivity Index

